

ルコトヲ得ルモノトス是レ相續人ハ承認又ハ拋棄ヲ爲ス前ニ財産ノ調査ヲ爲ス等ノコトアルカ故ナリ

九二 相續ノ開始トハ被相續人ノ死亡等ニヨリ當然相續權ヲ取得スル場合ニシテ單純承認トハ無限ニ被相續人ノ權利義務ヲ承繼スルヲ云ヒ限定承認トハ相續ニ因リテ得タル財産ノ限度ニ於テノミ被相續人ノ債務及ヒ遺贈ヲ辨濟スヘキコトヲ保留シテ承認スルヲ云フ拋棄ハ債務多キ等不利益ノ場合ニ於テ爲スニアリトス尤モ法定家督相續人ハ拋棄ヲ爲スヲ得ス只直系尊屬カ相續ヲ爲ス場合ニ限レリ

〔相續承認拋棄期間伸長申請書式ハ書式第五百五十五號ノ如シ〕

九三 右裁判ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄ナリトス

九四 相續人カ限定承認ヲ爲サントスルトキハ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル時ヨリ三ヶ月内ニ財産目録ヲ調製シテ之ヲ裁判所ニ提出シ限定承認ヲ爲ス旨ヲ申述スヘキモノトス〔相續限定承認申述書式ハ書式第五百五十六號ノ如シ〕

九五 相續ノ拋棄ヲ爲サントスルモノハ其旨裁判所ニ申述スヘキモノトス〔相續拋棄申述書式ハ書式第五百五十六號ノ如シ〕

トス〔相續拋棄申述書式ハ書式第五百五十六號ノ如シ〕

九六 期間伸長ノ申請又ハ限定承認若クハ拋棄ノ申述ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ

第七章 遺言ノ確認及ヒ執行

九七 遺言者ハ遺言ヲ以ツテ一人又ハ數人ノ遺言執行者ヲ指定シ又ハ其ノ指定ヲ第三者ニ委託スルコトヲ得ヘシ若シ遺言執行者ヲ指定セズ又ハ執行者ニ於テ辭任シタル等ニヨリ執行者ナキ場合ハ利害關係人ノ請求ニヨリ裁判所ニ於テ選任スルモノトス利害關係人トハ債權者相續人等ヲ云フ〔遺言執行者選任申請書式ハ書式第五百五十七號ノ如シ〕

九八 遺言執行者カ其任務ヲ怠リタルトキ其他正當ノ事由アルトキハ利害關係人ハ其解任ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ヘシ〔遺言執行者解任申請書式ハ書式第五百五十八號ノ如シ〕

九九 遺言執行者ノ選任及ヒ解任ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄ニシテ費用ハ相續財産ノ負擔トス

一〇〇 遺言執行者ヲ選任シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得サルモノトス  
 其選任解任ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ

遺言執行者ハ其解任ヲ命シタル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其期間ハ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ起算スルモノトス

一〇一 疾病其他ノ事由ニ因リテ死亡ノ危急ニ迫リタル者カ遺言ヲ爲シタルトキハ遺言ノ日ヨリ二十日內ニ證人ノ一人又ハ利害關係人ヨリ裁判所ニ請求シテ其確認ヲ得ヘキモノトス然ラサレハ遺言ノ效ナキモノトス

一〇二 海軍所屬ノ船舶中ニアリテ死亡ノ危急ニ迫リタル場合ニ於ケル遺言ハ遲滯ナク裁判所ニ請求シテ確認ヲ得ヘキモノトス確認ヲ受ケサル遺言ハ無効トス

一〇三 遺言ノ確認ハ遺言者ノ住所地又ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄ニシテ費用ハ遺言者又ハ相續財產ノ負擔トス

〔遺言確認申請書式ハ書式第五百五十九號ノ如シ〕

一〇四 右ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

利害關係人及ヒ檢事ハ遺言ノ確認ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其期間ハ確認ノ申請人カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ起算スルモノトス

一〇五 相續人カ遺言書ヲ發見シタル場合又ハ遺言書ノ保管者ナル場合ハ相續ノ開始ヲ知リタル後遲滯ナク裁判所ニ提出シテ其檢認ヲ請求スヘキモノトス尤モ公正證書ニ依ル遺言ニハ此場合ヲ適用セサルモノトス

一〇六 封印アル遺言書ハ裁判所ニ於テ相續人又ハ其代理人ノ立會ヲ以テスルニ非レハ開封スルコトヲ得サルモノトス

一〇七 若シ遺言書ヲ提出スルコトヲ怠リ其檢認ヲ經スシテ遺言ヲ執行シ又ハ裁判所外ニ於テ開封シタルモノハ二百圓以下ノ過料ニ處セラレ

一〇八 遺言ノ檢認ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス  
 〔遺言書檢認申請書式ハ書式第六十號ノ如シ〕  
 一〇九 封印アル遺言書ノ開封ニ付テハ豫メ期日ヲ定メテ相續人ヲ呼  
 出スモノトス

一一〇 裁判所ハ遺言書ノ開封及ヒ檢認ヲ爲シタルトキハ出頭セザリ  
 シ相續人其他遺言ノ旨趣ニ關係アル者ニ其旨ヲ告知スルモノトス  
 右ニ掲ケタルモノハ裁判所ノ許可ヲ得テ開封又ハ檢認ニ付テノ調書  
 ヲ閱覽スルコトヲ得ヘシ

一一一 遺言書ノ提出開封檢認告知ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス

第五編 戶籍法ニ關スル件

第一章 自分ニ關スル届出手續

一 身分ニ關スル届出ハ其届人ノ本籍地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スヘキモノ  
 トス尤其届出人カ本籍地外ニ在ル場合ハ其所在地ノ戶籍吏ニ届出ヲ  
 爲スコトヲ得ヘシ(戶籍吏ハ市長又ハ區町村長ナリトス)

届出人カ本籍ヲ有セザルトキハ其届出ニ關シテハ所在地ヲ以テ本籍  
 地ト看做サル(所在地トハ本人ノ居所ヲ云フ)

二 届出ハ書面ニテ爲スモノトス尤正當ノ事由アルトキハ届人ハ戶籍  
 吏ニ其理由ヲ陳述シ口頭ニテ其届出ヲ爲スヲ得ルモノトス(戶籍法第  
 四十三條)

三 届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ届人之ニ署名捺印スヘキモノトス

イ 届出事件

ロ 届出ノ年月日

ハ 届出人ノ族籍職業出生ノ年月日及ヒ本籍地

- 四 届出人ト届出事件ノ本人ト異ルトキハ届書ニ其間ノ續柄ヲ記載スヘキモノトス若シ届出人カ家族ナルトキハ届書ニ戸主ノ氏名及ヒ届出人ト戸主トノ續柄ヲ記載スルモノトス
- 五 届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ届出義務者トス
- 右ノ場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スヘキモノトス
  - イ 届出ヲ爲スヘキ者ノ氏名族稱出生ノ年月日及ヒ本籍地
  - ロ 無能力ノ原因
  - ハ 届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人タルコト
- 六 五ノ場合ハ無能力者カ其法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得ヘキ行爲ノ届出ニハ之ヲ適用セス
- 禁治産者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ届出人カ届出事件ノ性質及ヒ效果ヲ理會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘキ醫師ノ診斷書ヲ添ルコトヲ要スルナリ
- 七 證人ヲ要スル事件ノ届出ニ付テハ證人ハ届書ニ其證人タルコト出

- 生ノ年月日職業及ヒ本籍地ヲ記載シテ署名捺印スヘキモノトス
- 八 届出人届出事件ノ本人又ハ届出ノ證人カ本籍地外ニ在ルトキハ届書ニ其所在地ヲ記載スヘキモノトス
- 九 届書ニ記載スヘキ事項中其事實ノ存セサルモノ又ハ知レサルモノアルトキハ其旨ヲ記載スヘキモノトス尤モ戸籍吏ハ各届出事件ニ付特ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セサル届書ヲ受理スルコトヲ得サルモノトス
- 一〇 届書ニハ戸籍法其他ノ法令ニ定メタル事項ニ非サレハ記載スルコトヲ得サルモノトス
- 一一 届書ニハ一二三十ノ文字ヲ用ヰス壹貳參拾ノ文字ヲ用ユヘク又訂正挿入削除シタルトキハ其字数ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ認印シ其削除ニ係ル文字ハ明カニ讀ミ得ヘキ爲メ字體ヲ存スヘキモノトス
- 一二 本籍地ノ戸籍吏ノ管轄地外ニ於テ届出ヲ爲ストキハ届書ハ正副二通ヲ作ルヘキモノトス

- 届出ニ因リ一人又ハ數人ヲ本籍カ一ノ家ヨリ他ノ家ニ移轉スル場合ニ於テ兩家ノ本籍地カ戸籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ本書ハ正副二通ヲ作り届出地ト兩家ノ本籍地トカ各戸籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ正本一通副本二通ヲ作ルヘキモノトス
- 一三 口頭ヲ以テ届出ヲ爲スニハ届出人ハ戸籍吏ノ面前ニ出頭シ其届出事件ヲ陳述シ戸籍吏ハ直チニ其口述並ニ届出ノ年月日ト届出人ノ氏名出生ノ年月日職業及ヒ戸籍地ヲ筆記シ之ヲ届出人ニ讀ミ聞カセ且届出人ヲシテ之ニ署名捺印セシムルコトヲ要スルモノトス
- 一四 届出事件ニ關シ同意承諾又ハ承諾ノ證明ニ付テモ同意者承諾者ニ於テ正當ノ事由アルトキハ右ノ場合ノ如ク口頭ニテ爲スコトヲ得ヘシ
- 一五 戸籍法ニ別段ノ規定アル場合ノ外法令ノ規定ニ依リ届出事件ニ付官廳ノ許可ヲ要スルトキハ届出人ハ届書ニ許可書ノ謄本ヲ添ルコトヲ要スルナリ
- 一六 届出人カ疾病其他ノ事故ニ因リ自ラ戸籍吏ノ面前ニ出頭スルコ

ト能ハサルトキハ代理人ヲ差出スコトヲ得但縁組ノ届出離縁ノ届出婚姻ノ届出離婚ノ届出ニハ適用セス

- 一七 外國ニ在ル日本人ハ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ届出ヲ爲スコトヲ得ヘシ

- 一八 外國ニ在ル日本人カ其國ノ法式ニ從ヒ届出事件ニ關スル證書ヲ作ラシメタルトキハ三ヶ月内ニ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ其證書ノ謄本ヲ差出スヘキモノトス

日本ノ公使又ハ領事カ其國ニ駐在セサルトキハ本人歸國ノ後一ヶ月内ニ本籍地ノ戸籍吏ニ證書ノ謄本ヲ差出スヘキナリ

- 一九 届出期間ハ届出事件ノ發生シタル日ヨリ起算スルモノトス裁判確定ノ日ヨリ期間ヲ起算スヘキ場合ニ於テ届出義務者カ裁判ノ送達又ハ交付ヲ受クル前裁判カ確定シタルトキハ其送達又ハ交付ヲ受ケタル日ヨリ起算スヘキモノトス

- 二〇 期間内ニ爲スヘキ届出ヲ怠リタル爲メ過料ニ處セラレタル者アルトキハ裁判所ハ遲滯ナク其者カ届出ヲ爲スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ

通知アルモノトス尤モ戸籍吏ヨリ既ニ届出ヲ受理シタル旨ノ通知アリタルトキハ此限ニ非ス

戸籍吏カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ届出義務者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ届出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘキモノトス

届出義務者カ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲サ、ルトキハ戸籍吏ハ更ニ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スモノトス爾後届出義務者カ戸籍吏ノ催告ニ應セザルトキ亦同シ

二一 届出期間ヲ經過シタル後ニ届出ヲ爲シタル場合ニ雖トモ戸籍吏ハ之ヲ受理スヘキモノトス

二二 届出人ハ手数料ヲ納付シテ届出受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得

二三 何人ト雖トモ手数料ヲ納付シテ身分登記簿ノ閲覽又ハ登記ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ヘシ謄本トハ寫書抄本トハ拔書ノコトヲ云フ

謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ戸籍吏之ヲ作リ原本ト

相違ナキ旨ヲ附記シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押シ之ヲ交付スルモノトス

手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ戸籍吏之ヲ送付スヘキモノトス

戸籍吏カ閲覽又ハ交付ノ請求ヲ許サ、ル場合ニ於テハ書面ヲ以テ其旨ヲ請求者ニ告知スヘキモノトス

二四 身分登記簿又ハ戸籍ノ謄本若クハ抄本ヲ請求スル者ハ一枚ニ付金拾錢ヲ納ムヘキモノトス其一枚ニ滿タサルモノト雖トモ亦同シ其枚數ハ原本ニ依リ計算スルモノトス

身分又ハ戸籍ニ關スル届出若クハ申請ノ受理ノ證明書ヲ請求スル者ハ一件ニ付金五錢ヲ納ムヘキモノトス

手数料カ國庫ノ收入ト爲ルヘキ場合ニ於テハ右三項ノ請求ハ書面ヲ以テ爲スヘキモノトス

右ノ場合ニ於ケル手数料ハ登記印紙ヲ請求書ニ貼付シテ納ムヘキモノトス(明治三十一年七月十二日司法省令第十三號)

二五 納付スル手数料ハ市町村ノ收入トス但國庫ヨリ戸籍役場ノ經費

ヲ支辨スル地ニ在リテハ國庫ノ收入トス(戶籍法第二百十七條)

第二章 届出期間

二六 届出期間ハ戶籍法ニ規定シアルヲ以テ其期間ヲ遵守セサルヘカ  
ラス届出期間内ニ其届出ヲ怠ルトキハ過料ノ處分ヲ受クヘキモノト  
ス尤モ其期間ハ書式ニ一々明記シアルヲ以テ注意ヲ要ス

第三章 抗告手續

二七 身分登記又ハ戶籍ニ關スル事件ニ付戶籍吏ノ處分ヲ不當トスル  
者ハ戶籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得ヘ  
シ(身分登記トハ出生婚姻離婚縁組相續ノ届等ニ付キ登記スルヲ云フ)  
二八 抗告ハ管轄區裁判所ニ抗告狀ヲ差出シテ爲スモノトス抗告狀ニ  
ハ届書又ハ申請書及ヒ關係書類ヲ添ルコトヲ要ス

二九 抗告ヲ受ケタル裁判所ハ抗告ニ關スル書類ヲ戶籍吏ニ送付シテ  
意見ヲ求ムヘキモノトス

三〇 戶籍吏ハ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ處分ヲ變更シテ其旨ヲ  
裁判所及ヒ抗告人ニ通知スヘキモノトス

抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ意見ヲ附シ書類ヲ五日内ニ裁判所ニ  
返還スヘキモノトス

三一 裁判所ハ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ之ヲ却下シ其理由アリト  
スルトキハ戶籍吏ニ相當ノ處分ヲ命スルモノトス  
抗告ヲ却下シ又ハ處分ヲ命スル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲シ戶籍吏及  
ヒ抗告人ニ送達スルモノトス

三二 裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由  
トスルトキニ限り民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ抗告ヲ爲スヲ得ヘシ  
三三 抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用スルモノトス

第四章 罰則

三四 期間内ニ爲スヘキ届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ十圓以下ノ過料  
ニ處セラル(戶籍法第二百十條)

三五 期間内ニ届出又ハ申請ヲ爲サ、ルニ因リ戶籍吏カ期間ヲ定メテ  
届出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ尙其届出又ハ申請ヲ怠リ  
タル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處セラル二回以上戶籍吏ノ催告ニ應セ

サル者亦同シ

三六 戸籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處セラル

イ 正當ノ理由ナクシテ身分又ハ戸籍ニ関スル届出若クハ申請ヲ受理セザルトキ

ロ 身分登記又ハ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

三七 戸籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以下ノ過料ニ處セラル

イ 正當ノ理由ナクシテ身分登記簿又ハ戸籍簿ノ閲覧ヲ拒ミタルトキ

ロ 正當ノ理由ナクシテ身分登記又ハ戸籍ノ謄本若クハ抄本ヲ交付セス又ハ身分若クハ戸籍ニ關スル届出又ハ申請ノ受理ノ證明書ヲ

交付セザルトキ

三八 過料ノ裁判ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所又ハ居所ノ地ヲ管轄

スル區裁判所之ヲ爲ス其裁判及ヒ裁判ノ執行ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用スルモノトス

三九 自己又ハ他人ノ利ヲ圖リ若クハ他人ヲ害スル目的ヲ以テ身分又ハ戸籍ニ關シ詐欺ノ届出若クハ申請ヲ爲シタル者ハ十一日以上四年

以下ノ重禁錮又ハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セラル

### 第六編 登記法ニ關スル件

#### 第一章 一般ニ關スル登記手續

##### 第一節 手續總則

一 登記ハ所有權地上權永小作權地役權先取特權質權抵當權賃借權ノ不動産ニ關スル權利ノ設定保存移轉變更處分ノ制限又ハ消滅ニ付キ爲スモノトス(登記法第一條)

二 假登記ハ登記ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セザルトキ及ヒ所有權地上權永小作權地役權先取特權質權抵當權賃借權ノ權利ノ設定移轉變更又ハ消滅ノ請求權ヲ保全セントスルトキノ二個ノ場合トス(登記法第二條)

三 登記ハ登記權利者及ヒ登記義務者又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ申請スヘキモノトス

四 判決又ハ相續ニ因ル登記ハ登記權利者ノミニテ申請スルコトヲ得



五 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ登記名義人ノミニテ申請スルコトヲ得ヘシ

六 官廳又ハ公署ノ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ其官廳又ハ公署ヨリ囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ登記所ニ囑託スルモノトス

七 官有不動産又ハ府縣郡市町村若クハ區ノ所有ニ係ル不動産ニ關スル權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳若クハ公署ヨリ囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ登記所ニ囑託スルモノトス

八 假登記ハ次項ノ場合ヲ除クノ外假登記權利者ノ申請ニ因リ其目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ囑託書假處分命令ノ正本ヲ添附シテ登記所ニ囑託スヘキモノトス

右ノ假處分命令ハ假登記權利者カ假登記原因ヲ疏明シタルトキハ區裁判所ニ於テ之ヲ發スルモノトス  
申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

右 抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

九 假登記ハ假登記義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其承諾書ヲ添附シテ假登記權利者ヨリ之ヲ登記所ニ申請スルコトヲ得ヘシ

一〇 登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スヘキモノトス

イ 申請書

ロ 登記原因ヲ證スル書面

ハ 登記權利者ニ關スル登記濟書

ニ 登記原因ニ付第三者ノ許可同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

ホ 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其權限ヲ證スル書面

登記原因ヲ證スル書面カ執行力アル判決ナルトキハ「及ヒ」ニ掲ケタル書面ヲ提出スルヲ要セス

一一 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘキモノトス

イ 不動産所在ノ郡市區町村字及土地ノ番號  
 ロ 地目及ヒ反別又ハ坪數  
 ハ 申請人ノ氏名住所若シ申請人カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ事務所

ニ 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其氏名住所  
 ホ 登記原因及ヒ其日附  
 ヘ 登記ノ目的

ト 登記ノ表示  
 チ 年月日

- 一 登記スヘキ權利ノ目的カ建物ナル場合ニ於テハ申請書ニ其種類構造及ヒ建坪ヲ記載シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲ記載シ附屬建物アルトキハ其種類構造及ヒ建坪ヲ記載スヘキモノトス
- 二 登記原因ニ買戻ノ特約其他登記ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定メアルトキハ申請書ニ其事項ヲ記載スヘキモノトス
- 三 登記權利者カ多數ナル場合ニ於テ登記原因ニ其持分ノ定メアルトキハ申請書ニ其持分ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 五 登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ノ副本ヲ提出スヘキモノトス
- 一 六 登記原因カ相續ナルトキハ申請書ニ相續ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘキモノトス
- 一 七 申請人カ登記權利者又ハ登記義務者ノ相續人ナルトキハ申請書ニ其身分ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘキモノトス

一 八 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其表示ノ變更ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 九 登記義務者ノ權利ニ關スル登記濟證カ滅失シタルトキハ申請書ニ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者二人以上カ登記義務者ノ人違ナキコトヲ保證シタル書面ニ通テ添附スヘキモノトス
- 二 〇 申請書ニ第三者ノ許可同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スルコト

- トヲ要スル場合ニ於テハ其第三者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシメ其書面ニ代フルコトヲ得ルモノトス
- 二一 同一ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數個ノ不動産ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テハ登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ナルトキニ限り同一ノ申請書ヲ以テ登記ヲ申請スルコトヲ得
- 二二 抹消シタル登記ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘキモノトス
- 二三 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ三ヶ月ヨリ少カラサル期間ヲ定メ告示アルモノトス
- 右ノ場合於テハ登記權利者ノミニテ登記ノ回復ヲ申請スルコトヲ得ルモノトス

第二章 所有權ニ關スル登記手續

二四 所有權ノ一部移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其部分ノ表示ヲ爲シ若シ登記原因ニ民法第二百五十六條第一項但書ノ定

アルトキハ之ヲ記載ス可キモノトス

二五 土地ノ分合滅失反別若クハ坪數ノ増減又ハ地目字若クハ番號ノ變更アリタルトキハ其土地ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滯ナク其登記ヲ申請スヘキモノトス

二六 右ニヨリ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地ノ分合滅失若クハ増減シタル反別若クハ坪數並ニ現在ノ反別若クハ坪數ヲ記載シ又ハ新地目新字若クハ新番號ヲ記載スヘキモノトス

二七 土地ノ分合滅失反別若クハ坪數ノ減少又ハ地目ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ申請書ニ其登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘキモノトス

二八 建物ノ分合其番號若クハ構造ノ變更其滅失其建坪ノ増減又ハ附屬建物ノ新築アリタルトキハ其建物ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滯ナク登記ヲ申請スヘキモノトス  
建物ノ敷地ノ地目字若クハ番號又ハ段別若クハ坪數ノ變更アリタル

トキ亦同シ

二九 右ニヨリ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ分合シタル建坪新番號若クハ新構造又ハ滅失増減若クハ新築シタル建坪並ニ現在ノ建坪ヲ記載シ又ハ敷地ノ新地目新字若クハ新番號又ハ増減シタル段別若クハ坪數並ニ現在ノ段別若クハ坪數ヲ記載シ且建物ノ分合構造ノ變更又ハ建坪ノ増減ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其圖面ヲ添付スヘキモノトス

三〇 土地收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ハ登記權利者ノミニテ申請スルコトヲ得其申請書ニハ収用シタル土地ノ全部又ハ一部カ不用ニ歸シタル場合ニ於テ舊所有者カ買戻權ヲ有スル旨ヲ記載シ補償金ノ受取證又ハ預證ヲ添付スヘキモノトス

三一 未登記ノ土地所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得ルモノトス(登記法第百五條)

イ 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者

ロ 判決ニ因リ自己ノ所有權ヲ證スル者

三二 未登記ノ建物所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得(登記法第百六條)

イ 建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記簿ニ登記セラレタル者

ロ 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者

ハ 既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

三三 判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

三三 前二項三一三二ニヨリ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ登記法第百五條第何號又ハ第百六條第何號ニ依リテ登記ヲ申請スル旨ヲ記載シ必要ナル證明書類ヲ添付シ尙前項ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ圖面ヲ請附スルコトヲ要ス但登記原因及ヒ其日附ヲ記載シ又「一〇」項ロ乃至ニニ掲ケタル書面ヲ添付スルコトヲ要セサルモノトス

三四 四七四六項ノ規定ハ未登記ノ不動産所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ準用ス

第三章 所有權以外ノ權利ニ關スル登記手續

三五 地上權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ地上權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間地代又ハ其支拂時期ノ定メアルトキハ之ヲ記載スヘキモノトス

三六 永小作權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ小作料ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間小作料ノ支拂時期其他永小作人ノ權利若クハ義務ニ關スル特約又ハ民法第二百七十二條但書ノ設定アルトキハ之ヲ記載スヘキモノトス

三七 地役權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ要役地ノ表示ヲ爲シ地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ民法第二百八十一條第一項但書第二百八十五條第一項但書又ハ第二百八十六條ノ定アルトキハ之ヲ記載スヘキモノトス

三八 先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨淨期ノ定メアルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス但不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ付テハ其工事費用ノ豫算額ヲ記載スヘキモノトス

三九 質權ノ設定又ハ轉質ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ辨淨期ノ定アルトキ利息ニ關スル定アルトキ違約金若クハ賠償額ノ定アルトキ債權ニ條件ヲ附シタルトキ民法第三百四十六條但書ノ定アルトキ第三百五十六條若クハ第三百五十七條ノ規定ニ異リタル定メアルトキ又ハ第三百七十條但書ノ定メアルトキハ之ヲ記載スヘキモノトス

四〇 抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨淨期ノ定アルトキ利息ニ關スル定アルトキ其發生期若クハ支拂期ノ定アルトキ債權ニ條件ヲ附シタルトキ又ハ民法第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スヘキモノトス

四一 先取特權質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其權利目的ヲ所有權以外ノ權利ナルトキハ申請書ニ其權利ノ

表示ヲ爲スヘキモノトス

四二 質權又ハ抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ設定者カ債權者ニ非サルトキハ申請書ニ債權者ノ表示ヲ爲スヘキモノトス

四三 一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル先取特權質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其債權ノ價格ヲ記載スヘキモノトス

四四 官吏又ハ公吏ノ身元保證ヲ目的トスル抵當權ノ設定ノ登記ハ囑托書ニ其官吏又ハ公吏カ差出シタル登記請求書ヲ添附シテ當該官廳又ハ公署ヨリ之ヲ登記所ニ囑托スヘキモノトス

四五 數個ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲スヘキモノトス

四六 債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル先取特權質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スヘキモノトス

四七 質借權ノ設定又ハ質借物ノ轉貸ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ

申請書ニ借賃ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ借賃ノ支拂時期ノ定アルトキ又ハ質借權ノ移轉若クハ質借物ノ轉貸ヲ許シタルトキハ之ヲ記載シ質借ヲ爲ス者カ處分ノ能力若クハ權限ヲ有セサル者ナルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要スルナリ

質借權ノ移轉又ハ質借物ノ轉貸ヲ許シタル旨ノ登記アラサル場合ニ於テ質借權ノ移轉又ハ質借物ノ轉貸ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質借人ノ承諾書ヲ添附スヘキモノトス

四八 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得ルモノトス

四九 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ申請スルコトヲ得ヘシ

五〇 既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル

權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得ルモノトス

五一 右二項ノ規定ハ所有權以外ノ權利又ハ其權利ヲ目的トスル權利ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用セラル

五二 建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ設計書ニ定メタル其建物ノ種類構造建坪建物ヲ新築スヘキ郡市區町村字土地ノ番號及ヒ工事費用ノ豫算額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定メアルトキハ之ヲ記載シ設計書及ヒ圖面ヲ添附スヘキモノトス

五三 建物ヲ新築スルニ付不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終リタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滯ナク所有權ノ登記ヲ申請スヘキモノトス 尤一 一二二項ノ適用ヲ妨ケサルモノトス

附屬建物ヲ新築スルニ付不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終リタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滯ナク新築ノ登記ヲ申請スヘキモノトス

第四章 抹消ニ關スル登記手續

五四 登記シタル權利カ或人ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其死亡ヲ證スル戸籍吏ノ書面其他ノ公正證書ヲ添付スルトキハ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得ヘシ

五五 登記權利者カ登記義務者ノ行方ノ知レサルニ因リ之ト共ニ登記ノ抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從テ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ

右ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其謄本ヲ添付シ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得猶申請書ニ債權證書及ヒ債權額並ニ最後ノ二年分ノ定期金ノ受取證書ヲ添付シタルトキハ登記權利者ノミニテ先取特權質權又ハ抵當權ニ關スル登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得ルモノトス

五六 假登記ノ抹消ハ假登記名義人ヨリ申請スルコトヲ得ルモノトス申請書ニ假登記ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本

ヲ添附シタルトキハ登記上ノ利害關係人ヨリ假登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得ルモノトス

五七 登記ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其抹消ニ付登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗シ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘキモノトス

第五章 抗告手續

五八 登記官吏ノ所決定又ハ處分ヲ不當トスル者ハ管轄地方裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ

五九 抗告ハ登記所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲スモノトス

六〇 抗告ハ新ナル事實及ヒ證據方法ヲ以テ憑據ト爲スコトヲ得サルモノトス

六一 登記官吏カ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ三日内ニ意見ヲ附シテ事件ヲ裁判所ニ送付スルモノトス

登記官吏カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス苟シ登記完了ノ後ナルトキハ其登記ニ付異議アル旨ノ附記ヲ爲シ

之ヲ登記上ノ利害關係人ニ通知シ且前項ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

六二 抗告ハ執行ヲ停止スル效力ヲ有セス

抗告裁判所ハ抗告ニ付決定ヲ爲ス前登記官吏ニ假登記ヲ命スルコトヲ得

六三 抗告裁判所ニ於テ抗告ヲ理由アリトスルトキハ決定ヲ以テ登記官吏ニ相當ノ處分ヲ命スルモノトス

抗告裁判所ハ登記上ノ利害關係人ニ決定ノ謄本ヲ送達スヘキモノトス

六四 抗告裁判所ノ決定ハ理由ヲ附スヘキモノトス

六五 登記官吏カ抗告裁判所ノ命令ニ依リテ登記ヲ爲ストキハ命令ヲ爲シタル裁判所ノ命令ノ年月日命令ニ依リテ登記ヲ爲ス旨及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルモノトス

六六 抗告裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル決定ナルコトヲ理由トスルトキニ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

〔六一〕乃至〔六五〕ノ規定ハ右ノ抗告ニ準用ス



六七 送達ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用シ抗告ノ費用ニ付テハ非  
訟事件手續法ノ規定ヲ準用セラル

○書類方式

○民事ニ關スル書式

書式第一號

管轄裁判所指定申請書

何府何郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

一申請人ハ被申請人何郡市區町村番地身分職業何某ニ對シ賣買不動産引渡事件ニ付訴  
訟ヲ提起致度候處其不動産タル林地ハ某區裁判所及ヒ某區裁判所ニ跨リ爲メニ何レ  
ノ裁判所へ出訴可致ヤ不明ニ付管轄裁判所御指定相成度附屬書類相添へ此段申請仕  
候也

右

年 月 日

申請人

何

某 印

何地方裁判所長判事何某殿

一林地區域圖面

一賣買契約證明書

以上

一通 一通

書式第二號

裁判管轄ニ付合意申立書

何府何郡市區町村番地身分職業

原告 何

某

何府何郡市區町村番地身分職業

被告 何

某

一原告何某ヨリ被告何某ニ對スル何々請求事件ニ付被告ノ住所何地方裁判所へ出訴可  
致ノ處双方ノ便宜ヲ以テ原告ノ住所何裁判所へ出訴致度候條此段合意申立候也

右

年 月 日

原告 何  
被告 何

某 印  
某 印

何地方裁判所長判事何某殿

書式第三號

訴 狀

何府何郡市區町村番地身分職業

原告 何

某

何府何郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

貸金請求ノ訴

一定ノ目的物

元金何圓也

利息金何圓也

合計金何圓也

請求ノ原因

原告ハ明治何年何月何日被告ニ對シ金何圓ヲ貸與シ明治何年何月何日限リノ期限ナ  
ルモ返濟セス依テ一ヶ月ニ付何圓ノ利息ヲ加ヘ請求スル儀ニ御座候

一定ノ申立

右ノ事由ニ付被告ハ原告ニ對シ金何圓ヲ辨濟シ及ヒ訴訟費用支拂ヒ候様御判決相成  
度候

證據方法

一貸金證書

附屬書類ノ表示

一證書謄本

右

一 通

書式第四號

年 月 日

何地方裁判所長何某殿

原告

何

某印

訴

狀

何府縣何郡市町村番地身分職業

原告

何

某

何府縣何郡市町村番地身分職業

被告

何

某

賣掛代金請求ノ訴

一定ノ目的物

一金何圓

賣掛代金

請求ノ原因

原告ハ被告ニ對シ明治何年何月何日米何石此代金何圓ヲ明治何年何月何日ニ支拂フ  
約定ヲ以テ賣渡シタルニ其代金ヲ支拂ハサル儀ニ御座候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付被告ハ原告ニ對シ金何圓ヲ速カニ支拂フヘク併テ訴訟費用支辨候様御  
判決相成度候

證據方法

一判取帳

一冊

右

年 月 日

原告

何

某印

何地方裁判所長判事何某殿

訴

狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某

宿泊料請求ノ訴

一定ノ目的物

一金何圓

宿泊料

請求ノ原因

原告ハ被告ノ申込ニヨリ一泊料金何圓ト定メ明治何年何月何日ヨリ全何年何月何日  
迄宿泊セシメタルニ其宿泊料金何圓ヲ支拂ハス依テ之カ支拂方請求スル儀ニ御座候

一定ノ申立  
 右ノ次第ニ付被告ハ原告ニ對シ金何圓ヲ支拂フヘク且ツ訴訟費用負擔スヘシトノ御  
 判決相成度候  
 證據方法  
 一宿帳  
 右  
 一冊

年 月 日  
 何區裁判所監督判事何某殿  
 書式第六號  
 原告 何 某印

訴 狀

何府縣郡市區町村番地身分職業  
 原告 何 某  
 何府縣郡市區町村番地身分職業  
 被告 何 某

家賃請求ノ訴  
 一定ノ目的物  
 一金何圓  
 家賃延滞金

請求ノ原因

原告ハ被告ニ對シ何府縣郡市區町村番地ノ家屋ヲ一ヶ月金何圓ト定メ毎月末日支拂  
 ノ約定ニテ明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日迄貸與シタルニ明治何年何月分  
 ヨリ全何年何月分迄支拂ハス依テ之カ辨濟ヲ求ムル儀ニ有之候  
 一定ノ申立  
 右ノ次第ニ付被告ハ原告ニ對シ金何圓ヲ支拂ヒ併ヒテ訴訟費用負擔候様御判決相成  
 度候

證據方法

一借家證書  
 附屬書類ノ表示  
 一證書謄本

右  
 原告 何 某印

年 月 日  
 何區裁判所監督判事何某殿

書式第七號

訴 狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

家屋明渡及延滞家賃請求ノ訴

一定ノ目的物

何府縣郡市區町村番地

一瓦葺二階建木造家屋一棟明渡方ノ件

此評價何圓

一金何圓

延滞家賃何ヶ月分

請求ノ原因

一原告ハ被告ニ對シ右家屋一ヶ月金何圓ト定メ且家賃延滞ノ節ハ速ニ明渡シ方約定ノ上明治何年何月ヨリ貸與ヘタル處明治何年何月ヨリ全何年何月ニ至ル何ヶ月分ノ家賃ヲ支拂ハサル儀ニ候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付被告ハ右家屋ヲ明渡シ家賃何圓ヲ支拂ヒ及ヒ訴訟費用負擔候様御判決相成度候  
證據方法

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

一借家契約書

附屬書類ノ表示

一契約書謄本

右 一通

年 月 日

原告 何 某 印

何區裁判所監督判事何某殿

書式第八號

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

賣買契約履行ノ訴

請求ノ目的

一木綿 何百反

賣買契約履行ノ件

此價格何圓

一金何圓

遲滞損害金

請求ノ原因

原告ハ被告ニ對シ右木綿ヲ明治何年何月何日賣買契約ノ上代金支拂次第引渡ス等ナルニ明治何年何月何日以降其履行ヲ要求スルモ肯セス依テ其履行及遲滯損害金ヲ請求スル儀ニ有之候

一定ノ申立

被告ハ原告ニ對シ木綿何百反ヲ引渡シ及ヒ損害金何圓ヲ賠償シ併セテ訴訟費用負擔候様御判決相成度候

證據方法

一 賣買契約書

附屬書類ノ表示

一 契約書謄本

一 損害引細書

年 月 日

右

原告

何

某印

何地方裁判所長判事何某殿

書式第九號

訴

狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

契約解除及ヒ損害賠償ノ訴

請求ノ目的

一 大豆 何石 賣買契約解除ノ件

此價格何圓

一金何圓

損害賠償金

請求ノ原因

一 被告ハ原告ニ對シ大豆何石ヲ明治何年何月何日賣買契約ノ上全何年何月何日限リ代金引替ニ引渡ス等ナルニ被告ハ之ヲ履行セス依テ該契約ヲ解除シ及ヒ契約不履行ヨリ生スル損害金何圓ヲ請求スル儀ニ御座候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付被告ハ原告ニ對シ該契約ヲ解除シ併セテ損害金何圓ヲ賠償シ及ヒ訴訟費用支拂候様御判決相成度候

證據方法

一 賣買契約書

原告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某

附屬書類ノ表示

一 契約書謄本

一 損害明細書

右

一通

年 月 日

原告

何

某印

何地方裁判所長判事何某殿

訴

狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某

請求ノ目的

一金何圓

名譽回復要償金

請求ノ何因

一 被告ハ何新聞明治何年何月何日第何號紙上投書欄ニ於テ何告ハ何々ノ事實アリ云々ト記載シタルハ原告ヲ誹謗シタルモノナリ依テ其毀損セラレタル名譽ヲ回復スル爲

ノ何々ニ要スル費用ヲ請求スル儀ニ御座候

一定ノ申立

被告ハ原告ニ對シ要償金何圓ヲ支拂ヒ併セテ訴訟費用負擔候様御判決相成度候

證據方法

一 明治何年何月何日第何號何々新聞

右

年 月 日

原告

何

某印

何地方裁判所長判事何某殿

答 辨 書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某

貸金請求事件ノ答辨

一 原告ニ於テ被告ニ對シ貸金何圓ヲ返済スヘントノ訴訟ヲ提起シタルモ被告ハ借受ケタルコト無之候(或ハ原告ニ於テ被告ニ貸與シタル金何圓ハ明治何年何月何日元利

式方類書

共返濟セリ依テ請求ニ應スル理由ナシ

一定ノ申立

一右ノ次第ニ付原告ノ請求相立タス訴訟費用ハ原告ノ負擔タルヘシトノ御判決相成度候

年 月 日

何地方裁判所長判事何某殿

右  
被告 何 某印

書式第十二號

取 下 書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

右當事者間ニ於ケル御應本年第何號何々事件ハ都合ニヨリ全部取下ケ候也

年 月 日

何地方裁判所

右  
原告 何 某印

式方類書

書式第十三號

民事部長判事何某殿

取 下 書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

右當事者間ニ於ケル御應本年第何號何々事件今般都合ニヨリ被告ノ承諾ヲ得テ全部取下ケ候也

年 月 日

右  
原告 何 某印  
被告 何 某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第十四號

判決書送達申立書

御應明治何年第何號何々事件本月何日御判決相成候ニ付判決正本御送達相成度此段



申立候也

年 月 日

何地方裁判所書記御中

書式第十五號

判決更正申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某

御應本年第何號何々事件判決正本本日御送達相成候處何々ノ廉誤認ト存候間御更正相成度此段申立候也

右

年 月 日

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第十六號

判決補充申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某

御應本年第何々事件何日判決正本御送達相成候處何々ニ對シ裁判御申渡ノ分脫漏相成居候間補充被成下度此段申立候也

右

年 月 日

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第十七號

故障申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某

右當事者間ニ御言渡相成タル御廳本年第何號何々事件何月何日ノ欠席判決ニ對シ故障申立候也

年 月 日

右 被告 何 某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第十八號

故障申立取下書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

右當事者間ニ御言渡相成リタル何月何日付判決ニ對シ故障申立候處右ハ今般取下候也

年 月 日

右 被告 何 某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第十九號

期日變更申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

右當事者間ニ於ケル何々事件何月何日午前何時辯論期日ニ候處双方ノ都合有之候ニ付何月何日午前何時ニ御變更相成度此段申請候也

年 月 日

右 原告 何 某印  
被告 何 某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第二十號

期間伸長申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

右當事者間ニ於ケル何々事件何々ノ爲メ來ル何日迄期間御指定相成候處未タ纏リ兼  
不候ニ付來ル何日迄伸長被下度運署ヲ以テ此段申請候也

右

原告 何 某印  
被告 何 某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第二十一號

人證申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

御臨明治何年第何號何々事件ニ付左ノ事實ヲ立證スル爲メ人證申立候也

一指名證人

訊問ヲ受クヘキ事實

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

一明治何年何月何日米何俵ヲ原告へ渡シタル事實

右

被告 何 某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第二十二號

不參御届

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某印

右自分儀何々訴訟事件ニ付證人トシテ來ル何月何日出頭可致旨御召喚狀ニ接シ候處  
目下病氣ニ罹リ居リ全日出頭致シ難シ候ニ付別紙醫師診斷書相添へ此段御届申上候  
也

右

何 某印

年月日

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第二十三號

證言拒絕申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

自分儀原告何某被告何某間ニ於ケル何々訴訟事件ニ付證人トシテ御召喚相成候處自分ハ一旦原告某ノ妹ヲ妻トシ目下離別ノ身ナルモ法律上證人タルノ資格無之候條戸籍謄本相添ヘ證言拒絕ノ申立ヲ致シ候也

書式第二十四號

證人忌避申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

證人 何 某

御廳本年第何號何々事件ニ付被告何某ヨリ右證人ヲ指名申立候處右何某ハ被告ト親屬ノ關係有之候ニ付忌避仕度戸籍謄本相添ヘ此段申立候也

何府縣郡市區町村番地身分職業

年 月 日 原告 何 某 印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第二十五號

決定取消申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

一自分儀御廳本年第何號何々事件ニ付證人トシテ御呼出相成候處不參ノ故ヲ以テ何月何日付罰金何圓及ヒ費用賠償ノ御言渡相成候處明治何年何月何日ヨリ何月何日マテ何郡市區町村番地何某方ヘ罷越シ不在ノ爲メ御呼出ヲ承知仕ラス依テ何某ノ證明書相添ヘ證明仕候間該決定御取消相成度此段申立候也

右

年 月 日 何 某

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第二十六號

證書提出方命令申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某  
被告 何 某  
何府縣郡市區町村番地身分職業

右當事者間ニ於ケル何々事件ニ付立證ノ用ニ供スル爲メ左記事項申立候  
一 被告ニ於テ原告ト共有ヲ以テ何郡市區町村番地ノ耕地何反歩ヲ何郡市區町村何某ヨ  
リ明治何年何月何日付買受ケタル證書一通  
一 右證書ハ被告ノ手ニ存在シ本案事實ヲ證スルニ足ルモノニ有之被告ニ於テモ當然提  
出スル義務アルモノト存候  
右ノ事由ニ付該證書提出方御命令相成度候也

右

年 月 日

原告 何 某 印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第二十七號

證據圖面取寄方申立書

原告 何 某  
被告 何 某  
何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某  
被告 何 某  
何府縣郡市區町村番地身分職業

右當事者間ニ於ケル何々事件ニ付立證ノ爲メ左記事項申立候

一 山林境界圖面

一 右圖面ハ今回ノ係爭事件ニ付其境界ヲ證明スルニ必要ノ圖面ニシテ明治何年何月何  
日何々調査ノ際何郡市役所ニ於テ調製シ現ニ原告及ヒ被告ニ於テ立會人トシテ署名  
捺印シ同役所ニ存在致居リ候ニ付御應ニ於テ御取寄被成下度此段申立候也

右

年 月 日

原告 何 某 印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第二十八號

證書取寄申立書

原告 何 某  
被告 何 某  
何府縣郡市區町村番地身分職業

右當事者間ニ於ケル何々事件ニ付立證ノ爲メ左記事項申立候  
何々證書 一通

右ハ原告被告連帶ノ證書ニシテ何郡市區町村何某ニ差入置タルモノニシテ本案訴訟  
事件何々ヲ證スル必要有之且第三者タル何某ニ於テモ右事實アル以上ハ提出ノ義務  
アルモノト思料致シ候ニ付右取寄ノ爲メ相當期間御指定相成度候也

年 月 日

原告 何

某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第二十九號

檢眞申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

右當事者間ニ於ケル何々事件原告ヨリ提出セル證書ハ被告ニ於テ筆跡印影相違ノ旨  
申述セリ就テハ相當御檢眞被成下度此段申立候也

年 月 日

右  
原告 何 某

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第三十號

證書ノ眞否確定申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

右當事者ニ間ニ於ケル何々事件被告ハ原告へ差出シ置キタル何々證書ヲ偽造ナリト  
申述セリ就テハ相當御鑑定ノ上其眞否御確定相成度此段申請候也

年 月 日

右  
原告 何 某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第三十一號

檢證申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何

某

右當事者間ニ於ケル何々事件立證ノ爲メ左ノ事項申立候

一場所 何郡市區町村番地山林

一右山林東方何々隣地ニ接スル境界ヲ表スル標石存在ノ狀況右實地御檢證被下度此段申立候也

右

原告

何

某印

年 月 日

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第三十二號

鑑定申立書

御應本年第何號何々事件ニ付左記事項ヲ立證スル爲メ鑑定ノ儀申立候

一何々第何號證ニ押捺セシ印章ト被告ノ印章ト相違セルヤ否ヤノ件

年 月 日

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第三十三號

證據保全申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某印

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被申請人

何

某

右申請人ヨリ被申請人ニ對シ何々ノ事件有之訴訟ヲ提起致スヘシ候處之カ事實ヲ證スル爲メ必要ナル關係人何郡市區町村番地何某目下病氣危篤ニテ朝夕ヲ計ラレシ候ニ付左記事項申請致シ候

一何某ニ對シ何々ノ事實御訊問ノ事

一右某御訊問ノ結果何郡市區町村番地何々ニ付實地御檢證ノ事  
右申請仕候也

右

年 月 日

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

申請人

何

某印

書式第三十四號

答辯書中ニ反訴ヲ爲ス書式

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何

某

貸金請求ニ對スル答辯

一原告ヨリ請求スル金何圓ハ差引計算ノ都合ニヨリ返濟方遲延セリ

反訴ノ目的物

一金何圓

元金

一金何圓

利息

反訴請求ノ原因

一被告ハ原告ニ對シ明治何年何月何日金何圓ヲ貸與シ明治何年何月何日返濟期限ナルモ返濟セス却テ本案提起シタルニヨリ反訴請求致ス次第ニ候

一定ノ申立

一原告カ請求スル金何圓ハ反訴請求金ト相殺シ殘金何圓ヲ原告ヨリ被告ヘ返濟シ併セテ訴訟費用支辨候様御判決相成度候

證據方法

一貸金證書

附屬書類

一貸金證本謄本

右 一通

年 月 日

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

被告

何

某印

書式第三十五號

反訴書式

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何

某



賣掛代金請求事件ノ反訴

反訴ノ目的物

一金何圓

何々

反訴請求ノ原因

原告ハ被告ニ對シ賣掛代金何圓請求スル事實ハ之ヲ認ムルモ被告ハ原告ニ該原料何々ヲ供給シ何々ト其代金差引キ計算ヲナス約定ナルニ之レカ請求ヲ爲スニ於テハ原料代價支拂未濟ノ分反訴請求ヲ爲サ、ルヘカラサル儀ニ御座候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付原告カ何圓ノ請求ハ相立ス訴訟費用ハ原告ノ負擔タルヘシトノ御判決相成度候

證據方法

一何々

附屬書類ノ表示

一何々

年 月 日  
何地方裁判所  
右 被告 何 通 某 印

民事部長判事何某殿  
書式第三十六號

主參加申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業  
主參加人 何  
何府縣郡市區町村番地身分職業  
原告 何  
何府縣郡市區町村番地身分職業  
被告 何  
某 某 某

一定ノ目的物

御應明治何年第何號何々事件係争目的物

一立木

何千本

請求ノ原因

右原告被告間ニ於ケル訴訟ノ目的タル何市郡區町村番地山林立木何千本ハ明治何年何月何日所有主被告ヨリ買受ケタルモノニシテ原告被告ニ於テ受授ノ權利ナク全ク主參加人ノ所有ニ有之候

一定ノ申立

右ノ事由ニ付原告被告間係争物タル立木何千本ハ主參加人ノ所有ナルヲ以テ主參加

人ニ引渡スヘク様御判決相成度候也

證據方法

一賣渡證

附屬書類ノ表示

一賣渡證謄本

右

年 月 日

主參加人

何

某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第三十七號

從參加申請

何府縣郡市區町村番地身分職業

從參加人

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某

御應明治何年何月號何々訴訟事件ニ付從參加ノ申請仕候

一定ノ利害關係

本訴原告ニ於テ請求ノ何々木材何本ハ明治何年何月何日從參加人ニ於テ被告ニ賣渡シタルモノニシテ若シ原告ニ於テ勝訴ト爲ルニ於テハ從參加人ハ被告ニ對シ擔保ノ責ヲ免レサル次第ニ有之候

附隨申立

右ノ次第ニ付被告某ヲ補助スル爲メ附隨致度候

證據方法

一何々

右

年 月 日

從參加人

何

某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第三十八號

本訴中止申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申立人

何

某

御應明治何年第何號原告何某被告何某間ニ於ケル何々事件ニ付本日主參加申請書提出仕候ニ付本訴御中止相成度此段申立候也

右

年 月 日

申立人

何

某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第三十九號

訴訟ヨリ脱退申立書

御應本年第何號何々事件ニ付從參加人何某ヨリ從參加申請仕候ニ付協議ノ上從參加人ハ被告何某ニ代リ訴訟擔當仕ルヘク候ニ付被告某ハ本訴訟ヨリ脱退仕度連署ヲ以テ此段申立候也

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

從參加人

何

某

年 月 日

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第四十六號

訴訟告知書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告

何

某

右當事者間ニ係ル御應本年第何號何々事件原告請求ノ目的物何々ハ何郡市區町村番地何某ヨリ明治何年何月何日買受タルモノニ有之本訴訟ノ結果ニヨリテハ擔保ノ責任アル何某ニ對シ賠償要求仕候條一應本訴訟告知致候也

右

年 月 日

被告

何

某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

書式第四十一號

呼出申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業  
原告 何 某  
被告 何 某  
御應本年第何號何々事件原告請求ノ目的物何々ハ明治何年何月何日何郡市區町村番地身分職業何某ヨリ委託ヲ受ケ一時預リ置候マテニテ被告ニ於テハ無關係ニ付右某御呼出ノ上申述セシメラレ度此段申請仕候也

年 月 日

被告 何 某印

何地方裁判所

民事部長判事何某殿

忌 避 申 請 書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

書式第四十二號

右當事者間ニ於ケル御應本年第何號何々事件裁判長判事某殿ハ原告ト何々(親屬其他ノ關係ヲ詳記スルヲ要ス)ノ關係有之候ニ付忌避申請仕候也

年 月 日

被告 何 某印

何裁判所長判事何某殿

書式第四十三號

特別代理人選任申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

右申請人ハ何郡市區町村番地何某ニ對シ何々引渡ノ訴訟提起致スヘクノ處何某儀病死後其相續人タル何某儀ハ未成年者ニシテ訴訟ノ能力無之去リトテ此儘經過致シ候テハ賣却ノ時期ヲ失シ商業上損失尠カラス候條特別代理人御選任被成下度此段申請仕候也

右

申請人 何 某印

何地方裁判所長判事何某殿

書式第四十四號

委任狀

一自分儀都合有之何府縣郡市區町村番地身分職業何某ヲシテ左ノ行爲ヲ代理セシム  
一何府縣郡市區町村番地身分職業何某ニ對スル何々訴訟行爲一切(又ハ何府縣郡市區町村番地身分職業何某ヨリ自分ニ對スル何々訴訟事件ニ關スル行爲一切)  
右委任候事

何府縣郡市區町村番地身分職業

年 月 日

何 某 印

書式第二十四號

訴訟上救助申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

救助申請ノ原因

一自分儀明治何年何月何日何府縣郡市區町村番地身分職業何某ニ金何圓ヲ貸付期限ニ至リ返済方督促スルモ應セス其後該證書紛失致シ其儘經過致候處今般該證書發見仕候ニ付之レカ訴訟ヲ提起セント存シ候然ルニ自分儀目下生計困難ニ立至リ訴訟ヲ爲スノ餘力無之依テ訴訟上ノ御救助相受ケ度儀ニ御座候  
證據方法

一何某借用金證書

右ノ次第ニ付訴訟上ノ御救助被成下度別紙市町村長ノ證明書相添へ此段申請候也

年 月 日

何 某 印

何地方裁判所長判事何某殿

書式第四十六號

原狀回復申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申立人 何 某

何府縣郡市區町村番地何某ヨリ申立人ニ對スル何々訴訟事件敗訴ノ言渡相成何月何日判決書御送達相成候ニ付何日迄ニ控訴可仕筈ノ處何月何日何地ニ於テ何流行病發生爲メニ交通遮斷ノ上離隔室へ收容セラレ何月何日解放相成爲メニ控訴ノ期間ヲ經過致候次第ニ付別紙何市町村長(或ハ何病院長)ノ證明書相添へ原狀回復ノ申立ヲ致候也

訴訟行爲ノ追完

一右ノ次第ニシテ本件一審ノ判決ハ全部不服ニ付控訴仕候也

右

書式第四十七號

何控訴院長判事何某殿

訴訟費用確定決定申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

御應本年第何號何々事件去ル何月何日判決相成候ニ付テハ訴訟費用別紙計算書ノ通  
リニ有之候條確定決定相成度此段申請仕候也

右

年 月 日

申請人 何 某 印

何々地方裁判所(或ハ區裁判所)

判事何某殿

(計算書ヲ添附スヘシ)

書式第四十八號

口頭辯論期日短縮申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

年 月 日

原告 原 告 印

何裁判所

判事何某殿

書式第四十九號

和解ノ爲メ呼出申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申立人 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被申立人 何 某

請求ノ目的物

一花崗石 何千個

申立人ハ被申立人ト右花崗石何千個賣買契約ノ上申立人ハ代價何圓ノ半額ヲ差入明  
治何年何月何日引渡ノ際殘金支拂フ契約ナルニ其履行ヲ肯セス就テハ和解致度依テ

被申立人御呼出相成度此段申立候也

右

年 月 日

申立人

何

某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第五十號

支拂命令申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

債權者

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

債務者

何

某

一定ノ目的物

一金何圓

元金

一金何圓

利金

合計金何圓

一債權者ハ債務者ニ對シ明治何年何月何日金何圓ヲ貸與シ利息金一ヶ月何圓ノ定メニシテ明治何年何月何日返濟期限ナルモ返濟致サス候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付債務者ニ對シ支拂命令御發付相成度候也

證據方法

一貸金證書

附屬書類ノ表示

一貸金證書謄本

一通

年 月 日

右 債權者

何

某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第五十一號

支拂命令ニ對スル異議申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

債權者

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

債務者

何

某

右債權者何某ヨリ自分ニ係ル貸金事件ニ付明治何年何月何日御送達相成候支拂命令

ニ對シ異議申立候也

年 月 日

右

債務者

何

某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第五十二號

執行命令申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

債權者

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

債務者

何

某

一債權者ヨリ申請ニヨリ明治何年何月何日右債務者ニ對シ支拂命令御發布相成候處既ニ十四日ノ期間ヲ經過スル 返濟セヌ又異議ノ申立ヲモ致サス候ニ付假執行ノ御宣言相成度此段申請仕候也

右

年 月 日

債權者

何

某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第五十三號

訴訟記録閱覽申請書

御應本年第何號何々訴訟事件訴訟記録閱覽仕度此段申請仕候也

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告(又ハ被告) 何

某

年 月 日

何裁判所

民事部長判事何某殿

書式第五十四號

謄本及抄本付與申請

御應本年第何號何々訴訟事件何々謄本(又ハ抄本)要用ノ儀有之候ニ付御附與相成度此段申請候也

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告(又ハ被告) 何

某

年 月 日

何々裁判所民事部

書記課 御中

書式第五十五號



控訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

控訴人 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被控訴人 何

某

一明治何年第何號原告何某ヨリ被告何某ニ對スル何々事件ニ付何裁判所ニ於テ明治何年何月何日左ノ通り判決相成リタリ

被告ハ原告ニ對シ何々ヲ返濟スヘク訴訟費用ハ被告ノ負擔タルヘシ

一右判決ニ對シ全部不服ニ有之候

原因タル事實及ヒ控訴ノ趣旨

一被控訴人ヨリ控訴人ニ係リ何々事件第一審裁判所へ訴訟ヲ起シタルニ右判決ノ如ク

控訴人ノ敗訴ニ歸セリ然レトモ何々ニヨリ控訴人ハ何々ノ義務ナキモノト確信致シ

候

證據方法

一證人某ヲ訊問アラシコトヲ申立ッ

一何々

右控訴仕候也

右

控訴人

何

某印

控訴院長判事何某殿

書式第五十六號

答辯書

何府縣郡市區町村番地身分職業

控訴人 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被控訴人 何

某

何々控訴事件答辯ノ趣旨

一控訴人ノ控訴ハ理由ナク第一審裁判ハ正當ニ候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付控訴人ノ控訴ハ棄却ノ御判決相成度候也

右

被控訴人

何

某印

何控訴院長判事何某殿

書式第五十七號

上告狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

上告人 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被上告人 何

某

判決ノ表示

一明治何年何月何日何控訴院明治何年第何號何々事件ニ付言渡サレタル判決不服ノ程度

一右判決ノ全部又ハ一部ニ對シ破棄ヲ請求ス

理由

一第二審裁判所ニ於テハ何々ノ事實ヲ認メ之ニ何々ノ法則ヲ適用セス何々第何條ニ該當スルモノトシ何々ト判決アリタルハ不當ニ有之候或ハ何々(上告ノ理由トナルヘキ事實ヲ記載スヘシ)右ノ次第ニ付上告仕候也

右

年 月 日

上告人 何

某 印

何控訴院長判事何某殿

又ハ

大審院長判事何某殿

書式第五十八號

答辯書

何府縣郡市區町村番地身分職業

上告人 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被上告人 何

某

何々上告事件答辯ノ趣旨

一上告人ノ上告ハ理由ナク第二審裁判ハ正當ニ候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付上告人ノ上告ハ棄却ノ御判決相成度候也

右

年 月 日

被上告人 何

某 印

何控訴院長判事何某殿

又ハ

大審院長判事何某殿

書式第五十九號

抗 告 狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

抗 告 人 何 某

一 抗告人ヨリ何府縣郡市區町村番地何某ニ對スル何々請求事件裁判長何某殿ハ何々何々ノ事實有之偏頗ノ疑アルヲ以テ忌避申請致候處何裁判所ハ之ニ對シ不當ナリトノ判決ヲ與ヘラレタリ右決定ニ對シテハ何分承服致シ難ク抗告人ニ於テハ民事訴訟法第何條ニ該當スル忌避ノ理由アルモノト信認仕候ニ付相當ノ御處置相成度此段抗告仕候也

右

抗 告 人 何 某 印

年 月 日

何裁判所長判事何某殿

書式第六十號

再 審 ノ 訴 狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原 告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被 告 何 某

一 明治何年何號何々事件何裁判所ニ於テ明治何年何月何日言渡サレタル判決

主 文

被告ハ原告ニ對シ何々ヲ償却スヘク訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

右判決ニ對シ全部廢棄ヲ申請ス

理 由

原告某ハ被告ニ對シ何々請求ノ訴ヲ提起シ何裁判所ハ之ヲ認メ被告ノ敗訴ニ歸シタルモ元來原告ヨリ證據トシテ提出シタル何々證書ハ偽造ナルヲ以テ相當手續ニ及ヒタル處明治何年何月何日何裁判所ハ之ヲ認メ原告ニ對シ偽造ノ所爲アルモノトシ何々ノ御處分ニ相成既ニ該裁判ハ確定セリ

一定ノ申立

右ノ次第ニ付原狀回復ノ訴仕候ニ付判決全部廢棄ノ上更ニ原告ノ請求相立タス訴訟費用ハ原告ノ負擔タルヘントノ御判決相成度候也

證據方法

一何々

右

被 告 何 某 印

年 月 日

何地方裁判所判事何某殿

又ハ

何控訴院長判事何某殿

書式第六十一號

執行力アル正本付與申請

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

右當事者間ニ於ケル御廳本年第何號何々事件裁判確定候ニ付執行力アル正本御付與相成度此段申請仕候也

右

年 月 日

原告 何 某 印

何裁判所書記御中

書式第六十二號

執行文附與ニ對スル異議申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

一原告何某ヨリ係ル何々事件ニ付假執行ノ宣言無之或ハ未タ裁判確定セサルニモ拘ラズ執行文付與相成候ハ法律ニ違背シタル不當ノ處置ト認メ候條異議申立候也

右

年 月 日

被告 何 某 印

何裁判所長判事何某殿

書式第六十三號

執行ニ關スル異議申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申立人 何 某

一何府縣郡市區町村番地何某ヨリ申立人ニ係ル何々事件ニ付何區裁判所執達吏何某ハ申立人ノ家宅へ出張シ強制執行ヲ爲スト稱シ何々及ヒ何々ヲ差押ヘタリ右ハ法律上差押フヘカラサルモノニシテ申立人ノ承諾ナキニモ拘ラス之ヲ差押ヘタルハ不法ノ所爲ニ付此段申立候也

右

年 月 日

申立人 何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

(或ハ何郡市區町村番地何某ニ對スル債務アリト稱シ何區裁判所執達吏何某ハ申立人ノ家宅へ出張何々何々ヲ差押ヘタルモ申立人ハ何某ニ對シ債務ヲ有スルモノニアラス從テ差押等ヲ受クル理由無之ニ付該執行取消相成度此段申立候也)

書式第六十四號

差押命令申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被申請人 何 某

一金何圓

元 金

一金何圓

利 金

合計金何圓

申請人ヨリ被申請人ニ對スル前記貸金返済スヘシトノ何々裁判所確定判決ニヨリ強制執行ニ及フヘクノ處被申請人ハ何郡市區町村番地何々ニ何々ヲ預ケ入レアル分ヲ他へ移轉セシムルノ恐レ有之(或ハ何郡市區町村番地何々ニ金何圓ノ債權有之)候ニ付何卒右御差押相成度此段申請候也

年 月 日

右

申請人

何

某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第六十五號

強制競賣申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

債權者 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

債務者 何 某

何府縣郡市區町村番地字何々

一田 何反何畝歩

全何々

一建家但瓦葺木造二階家 何棟

右當事者間ニ於ケル何々裁判所明治何年第何號何々事件明治何年何月何日終局判決相成全何年何月何日確定仕候ニ付右不動産ノ競賣開始相成度別紙書類相添へ此段申立候也

書式第六十六號

競賣申立取下書

年 月 日

右

債權者

何

某

何區裁判所

監督判事何某殿

何府縣郡市區町村番地身分職業

債權者

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

債務者

何

某

右當事者間ニ於ケル何々事件ニ付明治何年何月何日競賣申立置候處今般和談相調候ニ付該申立取下候也

年 月 日

右

債權者

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第六十七號

申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

債權者

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

債務者

何

某

右債權者ヨリ債務者ニ係ル何々事件債務者ニ對シ明治何年何月何日御廳ニ於テ何々スヘシトノ判決ヲ受ケ確定致シタルモ未タ執行致サス候ニ付第三者ヲシテ代テ行爲ヲ爲サシメ度依テ之カ費用金何圓ヲ豫メ債務者ニ支拂ヲ爲サシムル様決定ノ御宣言相成度此段申立候也

年 月 日

右

債權者

何

某印

何地方裁判所長判事何某殿

又ハ

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第六十八號

申立書

右債權者ヨリ債務者ニ係ル何々事件債務者ニ對シ明治何年何月何日御應ニ於テ何々  
スヘシト御判決相成確定致シ候得共履行期間ヲ經過致シ既ニ何日ニ及フモ未タ履行  
不致候ニ付相當ノ賠償ヲ爲スヘキ旨御命令相成度此段申立候也

年 月 日

債權者 何 某

何裁判所長判事何某殿

假差押申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

債權者 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

債務者 何 某

請求ノ表示

書式第六十九號

一金何圓 元 金  
一金何圓 利 金

合計金何圓

事實ノ表示

債權者ニ於テハ右債務者ニ對シ前記ノ貸金有之既ニ期限ヲ經過スルモ返濟セス然ル  
ニ債務者ハ債權者ヲ害セン目的ヲ以テ財産ヲ他ヘ藏匿スル計畫中ニ有之若シ此場合  
猶豫致シ候テハ債權ハ到底得ヘカラサル儀ニ付何卒至急假差押ノ御命令相成度此段  
申請候也

證據ノ表示

一借用金證書

右 一通

年 月 日

債權者 何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第七十號

假差押命令ニ對スル異議申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

債權者 何 某  
右何某ヨリ申立人ニ對シ何々ノ債權アリトシ其申請ニヨリ假差押ノ御命令相成候得共申立人ニ於テハ何某ニ對シ債務ヲ有スルモノニアラス依テ速ニ該御命令御取消相成度此段申立候也

年 月 日

何府縣郡市區町村番地身分職業  
申立人 何 某

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第七十一號

假差押命令取消申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

債權者 何 某

右債權者ヨリ申立人ニ係ル何々事件假差押御命令ニ對シ異議申立ニヨリ債權者ハ何月何日迄ニ訴訟ヲ起スヘキ旨御判決相成候得共未タ訴訟ニ及ハス既ニ期限ヲ經過致シ候次第ニ付假差押御取消相成度此段申立候也

年 月 日

何府縣郡市區町村番地身分職業  
申立人 何 某

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第七十一號

假處分申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

右當事者間ニ於ケル梁取拂事件訴訟提起致置候處被告ハ本月何日以來梁保存ノ爲メ該所へ堅固ナル堤防ヲ築造スル計畫ニテ現ニ着手中ニ有之若シ該所へ堤防ヲ設置セラレ候テハ益々對岸タル原告所有地ハ洪水ノ爲メ維持致難ク儀ニ付何卒假處分御命令相成度此段申請仕候也

右

年 月 日

原告 何 某 印

何地方裁判所

民事部長何某殿

書式第七十三號



公 示 催 告 申 立 書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申 立 人 何 某

一何々手形額面何千圓

但別紙寫ノ通

右手形明治何年何月何日紛失(或ハ自宅ニ於テ盜難ニ罹リ)候ニ付公示催告相成度此  
段申立候也

右

年 月 日 申 立 人 何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第七十四號

除 權 判 決 申 立 書

御廳本年第何號何々ノ件公示催告相成候處既ニ期間ヲ經過スルモ權利ノ届出人無之  
候ニ付除權ノ御判決相成度此段申立候也

何府縣郡市區町村番地身分職業

申 立 人 何 某

年 月 日

何區裁判所

監督判事何某殿

○ 刑 事 ニ 關 ス ル 書 式

書式第七十五號

告 訴 狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

告 訴 人 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被 告 人 何 某

告訴人ハ被告人ニ對シ竊盜事件告訴仕候

一何々羽織 何 枚

此代金何圓 何 枚

一何々綿入 何 枚

此代金何圓 何 枚

一何々々 何 枚

此代金何圖  
合計何品

合計代金何圖

事實

右ハ明治何年何月何日夜告訴人居宅板塀ヲ乘リ越ヘ戸締アル雨戸ヲ切破リ盜賊忍入  
リ前記物品ヲ竊取セラレタルヲ翌朝ニ至リ發見候ニ付直ニ其趣何警察署ヘ盜難御届  
及ヒ置候然ルニ何日何町通行ノ際同町古着商某方店頭ニ釣シアル物品ハ前記被盜品  
ノ何々ニ有之候ニ付何レヨリ買入レタルヤヲ聞糾シ候處被告人何某ヨリ何月何日買  
受ケタル趣ニ有之且何々ノ事實有之全ク被告人ノ竊取シタルモノト思料仕候

證憑トナルヘキ事實

一古着商某ノ陳述及ヒ同人方ニ存在スル現品

右告訴仕候也

右

年 月 日

告訴人

何

某 印

何裁判所

檢事正檢事何某殿

又ハ

何警察署長

官氏名殿

追伸告訴人ハ民事原告人ト相成贓物ノ返還及ヒ損害ノ賠償申受度併テ私訴申立候也  
(右追申ハ告訴ト共ニ私訴ヲ申立ツル書式ナリ)  
書式第七十六號

告 訴 狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

告訴人 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告人 何

某

告訴人ハ被告人ニ對シ詐欺取財事件告訴仕候

一何々品

何 枚

此代價何程

一何々々

何 々

此代價何程

右被告人ハ明治何年何月何日告訴人宅ヘ來リ何町何某方滯在中ナル告訴人長男某ノ  
使ナリト稱シ前記物品入用ニ付持參方委託ヲ受ケタル旨申入レ候ニ付平素見知り居

ルモノニ付確實ナリト信シ相渡シタルニ右ハ全ク虚言ニシテ長男某ニ於テハ委託シタルコトナキ趣依テ探索致シ候處該品ハ被告カ平素出入スル何町質屋某方ニ入質有之詐欺取財ノ所爲ニ出テタル儀明瞭ニ有之候

證憑トナルヘキ事實  
一長男某及ヒ質商某ノ陳述及ヒ現品  
右告訴仕候也

右

告訴人

何

某印

年 月 日

何裁判所  
檢事正檢事何某殿

又ハ

何警察署長

官氏名殿

書式第七十七號

告訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

告訴人

何

某

告訴人ハ被告人ニ對シ拐帶ノ告訴仕候

事 實

告訴人ハ明治何年何月何日告訴人ノ雇人タル被告人ニ受取證ヲ持參セシメ何町何番地何某ヨリ賣掛代金何圓ヲ受取ラシメタルニ被告人ハ同日該金ヲ受取リ歸宅セヌ其儘逃亡致シ候

右拐帶ノ所爲アルモノニ付告訴仕候也

右

告訴人

何

某印

年 月 日

何裁判所  
檢事何某殿

又ハ

何警察署長官氏名殿

書式第七十八號

告訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

告訴人 何 某  
 何府縣郡市區町村番地身分職業  
 被告人 何 某

事實

告訴人ハ被告人ニ對シ毆打創傷事件告訴スルコト左ノ如シ  
 明治何年何月何日何亭ニ於テ何々ノ宴會有之酒宴中被告人ハ告訴人ニ口論ヲ挑ムモ之ニ應セザリシニ被告人ハ酒興ニ乘シ暴力ヲ振ヒ何某何等ノ支フルモ聞カス何々ヲ告訴人頭部ニ投付ケ別紙醫師診斷書ノ通り創傷セシナル儀ニ御座候  
 證憑トナルヘキ事物  
 一醫師診斷書及ヒ何某及何某ノ實見ニヨリ證明仕候  
 右告訴仕候也

右

年 月 日

告訴人

何

某 印

何裁判所

檢事正檢事何某殿

又ハ

何警察署長官氏名殿

書式第七十九號

告訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業  
 告訴人 何 某  
 何府縣郡市區町村番地身分職業  
 被告人 何 某

右告訴人ハ被告人ニ對シ器物毀棄事件告訴仕候

事實

被告人ハ明治何年何月何日告訴人方ニ於テ飲酒ノ末代金ヲ支拂ハサルヨリ請求シタルニ暴言ヲ發シ何々(暴行ノ事實ヲ記載スヘシ)別紙目錄ノ通り破毀致候次第ニ有之候

證憑トナル事物

- 一破毀シタル器物
- 一何市區町村番地某ハ被害ノ際實見致居リ候
- 右告訴仕候也

附屬書類

一被害品目錄

一通

年 月 日

何裁判所

又ハ

何警察署長官氏名殿

(別紙)被害品目録

一何々々

何枚

此代價何程

一何々々

何個

此代價何程

一何々々

何々

此代價何程

合計何品

合計代價何程

右ノ通リ

右

告訴人

何

某印

右

書式第八十號 年 月 日

告 訴 狀

告訴人

何

某印

何府縣郡市區町村番地身分職業

告訴人

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告人

何

某

告訴人ハ被告人ニ對シ委託金費消ノ告訴ヲ爲スコト左ノ如シ

事 實

告訴人ハ何府縣郡市區町村番地何某ヘ支拂フヘキ金何圓ヲ明治何年何月何日被告人

ニ委託シタルニ被告人ハ何某ヘ相渡サヌ之ヲ費消セリ

證 憑

一被告人領收證

一何某督促狀

右ノ次第ニ付被告人ヲ詰問シタルニ何々爾來告訴人ニ面會ヲ避ケ居ル始末ニ有之候  
條此段告訴仕候也

附屬書類目録

一 被告人領收證  
一 何某督促狀

右 一通

年 月 日

告訴人 何

某印

何裁判所

檢事 何某殿

又ハ

何警察署長官氏名殿

書式第八十一號

告 訴 狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

告訴人 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告人 何

某

右告訴人ハ被告人ニ對シ私印私書偽造行使事件告訴スルコト左ノ如シ

事 實

一 被告人ハ告訴人ニ對シ金何圓ノ貸金アリト稱シ何裁判所へ訴訟ヲ提起セリ然ルニ告

訴人ニ於テハ被告人ヨリ更ニ金圓ヲ借用シタルコト無之依テ其證書ヲ見ルニ告訴人ノ自筆ニアラサルノミカ印形モ相違ノ點有之全ク被告人ニ於テ偽造シタルモノト存候  
證憑トナルヘキ事物  
一 何々々  
右ノ次第ニ付此段告訴仕候也

右

年 月 日

告訴人 何

某印

何裁判所

檢事 何某殿

又ハ

何警察署長官氏名殿

書式第八十二號

告訴取下書

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告人 何

某

右被告人ニ對シ明治何年何月何日付ヲ以テ何々ノ告訴仕置候處右ハ被告人ニ於テ何

々ノ事情有之全ク事實行違ニ出テタル儀ニ付(或ハ何々ノ誤認ニ候條)該告訴ハ取下候也。

年 月 日

何裁判所

檢事正檢事何某殿

又ハ

何警察署長官氏名殿

書式第八十三號

委任狀

一自分儀都合有之何郡市區町村番地身分職業何某ヲシテ左ノ行爲ヲ代理セシム  
一何郡市區町村番地何某ニ對スル何々告訴ノ件  
右代理委任狀如件

何府縣郡市區町村番地身分職業

年 月 日

何

某印

書式第八十四號

(増減變更)申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告人

何

某

右被告人ニ對シ明治何年何月何日付何々ノ告訴仕置候處該告訴狀中何々ト記載シタルハ何々何々ノ誤或ハ被害品何々ハ何々ノ相違ニ有之或ハ何々ノ事實アルハ何々ニ依リ明瞭ニ有之候條此段(追加)(削除)(變更)申立候也

何府縣郡市區町村番地身分職業

告訴人

何

某

年 月 日

何裁判所

檢事何某殿

又ハ

何警察署長官氏名殿

書式第八十五號

私訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

民事原告人 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告人 何

某

請求ノ目的物  
一金何圓  
損害賠償金  
何々  
現在品

請求ノ原因

被告人ハ明治何年何月何日民事原告人居宅へ忍入り何々何々ヲ窃取セリ依テ之カ損害金何圓ヲ被告人ヨリ賠償シ現在品何々ノ返還ヲ要求スル儀ニ候

一定ノ申立

被告人ハ民事原告人ニ損害金何圓ヲ賠償シ現在品何々ヲ返還シ併テ訴訟費用支辨候様御判決相成度候

證據方法

一 刑事訴訟記録一切ニヨリ證明ス

附屬書類

一 損害明細書

一通

年 月 日

右

民事原告人

何

某 印

何裁判所刑事部

判事何某殿

(別紙)損害明細書

一金何圓 但何圓紙幣何枚

一何々 何 個

此代金何圓

一何々 何 枚

此代金何圓

合計金何圓

右之通り相違無之候也

何府縣郡市區町村番地身分職業

民事原告人 何

某

書式第八十六號

告 發 狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

告發人 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告人 何

某

右被告人ニ對シ窃盜事件告發スルコト左ノ如シ



事 實

被告人何某ハ何府縣郡市區町村某方ニ雇ハレ居リ明治何年何月中主家ヲ去リタルモ  
 ノニ有之候然ルニ明治何年何月何日某方ニ於テ何々數十品竊取セラレタルヨリ被告  
 人ノ所爲ト思念シ竊カニ探索方某ヨリ依頼ヲ受ケ居リ候折柄被告人ハ明治何年何月  
 何日自己ノ所有品ナリト稱シ何町質屋某方ヘ右盜難品何點ヲ質入シタルヲ發見仕候  
 依テ被告人ハ前記ノ竊盜ノ所爲アリト思料候ニ付一方被害者ニ通知シ被告人逃走ノ  
 恐モ有之急迫ノ場合ニ付此段告發仕候也

證據トナルヘキ事物

- 一 質屋某御取調ノ上ハ判明可致候
- 一 被害人某ノ依頼狀
- 附屬書類
- 一 被害人某ノ依頼狀

右 一通

年 月 日

告發人

何

某 印

何裁判所 檢事正檢事何某殿

又ハ

何警察署長官氏名殿 書式第八十七號

被告人逮捕告訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業 何 某  
 何府縣郡市區町村番地身分職業 何 某  
 被告人 何 某

事 實

右被告人ハ家宅侵入ノ所爲アルモノニ付逮捕致候ニ付左ニ告訴致候  
 一 明治何年何月何日午後何時頃告訴人方一同就寢中臺所ノ方ニ於テ異様ノ響微ニ聞ヘ  
 候ニ付伺ヒ見ルニ被告人ハ該所ヨリ座敷ノ方ニ歩ミ來リ候ニ付直ニ取押ヘ取糾シ候  
 處表板戸鍵前ヲ捻チ放シ侵入シタルモノニシテ只申譯ナキ旨陳スルノミニ有之候依  
 テ被告人御引渡ノ上此段告訴仕候也

右

年 月 日

告訴人

何

某

何裁判所

檢事正檢事何某殿

書式第八十八號

又ハ

何警察署長官氏名殿

不參御届

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

右何々事件ニ付來ル何日御應へ出頭可致旨御召喚狀御送達相成候處自分儀何月何日以來何病ニ罹リ療養中ニ有之出頭致難シ候條別紙醫師診斷書相添へ此段及御届候也

右

年 月 日

何 某印

何裁判所

豫審判事何某殿

書式第八十九號

費用賠償罰金言渡決定取消申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

一自分儀何々事件ニ付證人トシテ何月何日出頭可致旨御呼出相成候ニ付御應へ出頭ノ

爲ノ何日發足仕候處途中何郡何村字何々國道何橋出水ノ爲メ流失通行相成難ク何日ニ至リ漸ク通船ノ便ヲ得タル次第ニ有之候然ルニ同日不參ノ故ヲ以テ別紙之通り費用賠償及ヒ罰金ノ言渡相成候得共全ク右不得巳事由有之儀ニ付該決定御取消相成度別紙何市町村長證明書相添へ此段申請候也

右

年 月 日

何 某印

何裁判所

豫審判事何某殿

書式第九十號

旅費日當請求書

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

右ハ何々事件ニ付證人トシテ本日御呼出相成候ニ付テハ證人ノ住所肩書地ヨリ御應迄往復何里ニ有之候條相當ノ旅費日當御支給相成度此段請求仕候也

右

年 月 日

何 某

何地方裁判所

豫審判事何某殿  
 (旅費日常請求書ハ裁判所ニヨリ其書式ヲ異ニセリ尤モ其書式ハ裁判所ニ備ヘアルニヨリ書記課へ申出テ閱覽スヘシ)  
 書式第九十一號

保釋願

何府縣郡市區町村番地身分職業  
 當時何監獄署在監人

刑事被告人 何

某

右ハ何々被告事件ニ付御嫌疑ヲ蒙リ入監ノ身ト相成爾後謹慎罷在候處既ニ入監以來何ヶ月ヲ經過シ身體日々衰弱仕リ候ノミナラス家ニハ老父母存在シ日々心痛罷在加フルニ家事亂雜ノ儘ニテ之ヲ修ムルニ由ナク困難一方ナラス候條御洞察何卒特別御誼議ヲ以テ保釋御許可被成下度此段歎願仕候也

右

年 月 日

刑事被告人 何

某印

何裁判所

豫審判事何某殿

書式第九十二號

保證書

何府縣郡市區町村番地身分職業

刑事被告人 何

某

右ノ者何々被告事件ニ付拘留中ノ處今般保釋許可相成候ニ付保證金何圓ノ儀ハ自分ニ於テ御命令次第納金可仕候此段保證仕候也

何府縣郡市區町村番地身分職業

年 月 日

何

某

何裁判所

豫審判事何某殿

書式第九十三號

保釋不許ニ對スル異議申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

當時何監獄署在監人

刑事被告人 何

某

一自分儀何々被告事件ニ付拘留ノ身ト相成既ニ何ヶ月ヲ經過致シ困難ノ事情湧起致シ候ニ付別紙之通り保釋御願申上候處豫審判事ニ於テ御許相成ラス右ハ如何ナル御都合ニ有之候ヤ計リ難ク候得共自分ニ於テハ決シテ逃亡又ハ證據ノ湮滅ヲ企ツルモノ

ニ無之如何様ナル保證ヲモ相立テ可申儀ニ付何卒實際ノ情狀御酌量ノ上右不許ノ御言渡御取消相成度此段異議申立候也

右

年 月 日

刑事被告人

何

某印

何地方裁判所長判事何某殿

書式第九十四號

責付證書

何府縣郡市區町村番地身分職業

刑事被告人

何

某

右何々被告事件拘留中之處今般自分へ責付相成候ニ付テハ御呼出等御用ノ節ハ何時ナリトモ遲滯ナク出頭セシメ不都合無之様可仕候依テ本證書呈供致候也

何府縣郡市區町村番地身分職業

年 月 日

親屬

何

某

何裁判所

豫審判事何某殿

書式第九十五號

補佐人御届

何府縣郡市區町村番地身分職業

刑事被告人

何

某

右之者何々被告事件何日公判開廷之趣就テハ補佐人トシテ右公判ニ參與仕度此段御届申上候也

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告人何某實父

年 月 日

何

某

何裁判所

判事何某殿

書式第九十六號

故障申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

何

某

一自分ニ對シ明治何年何月何日付御廳ニ於テ何々事件ニ付欠席ノ儘判決相成リタル裁判ニ對シ承服致シ難ク候ニ付故障申立候也

右

年 月 日

何

某印

何裁判所  
判事何某殿  
書式第九十七號

控訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

一自分ニ對シ明治何年何月何日何裁判所ニ於テ何々事件ニ件重禁錮何月罰金何圓ノ判  
決言渡相成タリ右判決ハ全部不服ニ付控訴仕候也

右

年 月 日

何 某印

何地方裁判所長判事何某殿

又ハ

何控訴院長判事何某殿

書式第九十八號

答 辯 書

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

控訴人

何々事件控訴ニ付答辯

被控訴人  
民事原告人 何 某

一原裁判ノ判決ハ正當ニシテ被控訴人ノ控訴ハ事由ナキモノニ候  
一定ノ申立

右ノ事由ニ付控訴人ノ控訴ハ棄却ノ御判決相成度候也

右

年 月 日

被控訴人  
民事原告人 何 某印

何地方裁判所長判事何某殿

何控訴院長判事何某殿

書式第九十九號

控 訴 取 下 書

何府縣郡市區町村番地身分職業

控訴人 何 某

右明治何年何月何日何裁判所ノ判決言渡ニ對シ本月何日控訴仕置候處右ハ都合有之  
今般取下候也

年 月 日

右

控訴人 何 某印

書式第百號

何地方裁判所長判事何某殿  
何控訴院長判事何某殿

上告狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

一自分ニ對スル何々事件ニ付明治何年何月何日何裁判所(又ハ何控訴院)ニ於テ何々ノ  
言渡相成リタル判決ハ全部不服ニ付上告仕候也

右

何 某

年 月 日

何控訴院長判事何某殿

又ハ

大審院長判事何某殿

書式第百一號

上告趣意書

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

一何裁判所ニ於テ自分ニ對スル何々事件ニ付言渡シ相成タル判決ニ服セス上告仕候ニ  
付其趣意左ニ陳供仕候

第一 原判決ハ單ニ何々何々トアリ何々ノ事實ヲ認ムルノ記載ナキニモ拘ラス刑法

第何條ヲ適用セリ之レ判決ニ理由ヲ附セサル不法アリトス

第二 被告ハ何々ノ職ニアリテ市町村制之所請公吏ナルモノニアラス然ルニ明治何

年法律第何號及ヒ刑法第何條ヲ適用シタル擬律ノ錯誤アルモノト認ム

第三 何々

右

年 月 日

上告申立人 何 某印

何控訴院長判事何某殿

大審院長判事何某殿

書式第百二號

上告取下書

何府縣郡市區町村番地身分職業

上告申立人 何 某

一明治何年何月何日何裁判所ニ於テ言渡シタル判決ニ服セス何月何日上告致置候處今  
般都合有之取下候也

年 月 日

何控訴院長判事何某殿

大審院長判事何某殿

書式第百三號

答 辯 書

何府縣郡市區町村番地身分職業

上 告 人 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被 上 告 人 何 某

一 右 上 告 人 ヨリ 明 治 何 年 何 月 何 日 何 裁 判 所 ニ 於 テ 言 渡 シ タ ル 判 決 ニ 服 セ ス 上 告 候 ニ 付 答 辯 ス ル コ ト 左 ノ 如 シ

答 辯 ノ 趣 旨

一 上 告 人 ノ 上 告 ハ 理 由 ナ ク 原 判 決 ハ 正 當 ニ 候

一 定 ノ 申 立

右 ノ 次 第 ニ 付 上 告 人 ノ 上 告 ハ 棄 却 ノ 御 判 決 相 成 度 候

右

右

何 某 印

年 月 日

大審院長判事何某殿

書式第百四號

抗 告 狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

一 自 分 儀 何 ヲ 被 告 事 件 ニ 付 明 治 何 年 何 月 何 日 何 裁 判 所 ニ 於 テ 重 禁 錮 何 月 罰 金 何 圓 ノ 判 決 言 渡 相 成 何 月 何 日 判 決 御 送 達 ニ ヨリ 控 訴 申 立 ノ 爲 メ 何 月 何 日 御 廳 へ 出 頭 ノ 途 中 何 ヲ 何 ヲ 事 故 有 之 爲 ノ ニ 期 日 ヲ 經 過 候 ニ 付 何 日 ヲ 以 テ 原 狀 回 復 ト 共 ニ 故 障 申 立 候 處 何 裁 判 ハ 其 申 立 ヲ 却 下 セ リ 元 來 自 分 ニ 於 テ ハ 故 ナ ク 期 間 ヲ 經 過 シ タ ル モ ノ ニ 無 之 何 ヲ 證 明 モ 有 之 實 際 已 テ 得 サ ル ニ 出 タ ル 儀 ニ 付 右 却 下 ノ 言 渡 御 取 消 相 成 度 此 段 抗 告 申 立 候 也 右

年 月 日

右

何裁判所長判事何某殿

書式第百五號

再 審 ノ 訴

何 某 印

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

再審ノ訴趣意

一自分儀何々被告事件ニ付明治何年何月何日何裁判所ニ於テ何々ノ刑ニ處セラレ確定ノ上其執行ヲ受ケタルモ右ハ人違ニシテ自分ニ於テハ全ク該件ニ關係セサル次第ニシテ今般何々ノ公正證書ニ依リ實際犯罪ノ場所ニ居ラサリシ事實明瞭ナルニ至リ候  
證據書類

一何々公正證書

一通

一定ノ申立

右ノ次第ニ付該判決破棄ノ上相當ノ御裁判相成度候

右

年 月 日

何 某 印

何控訴院長判事何某殿

書式第百六號

復權御願

何府縣郡市區町村番地身分職業

何 某

一自分儀何々事件ニ付明治何年何月何日何裁判所ニ於テ何々ノ處刑ヲ受ケ滿期後謹慎罷在候處既ニ五ヶ年ノ期間ヲ經過致シ候ニ付復權ノ儀御認許被成下度別紙書類相添へ此段奉願候也

右

年 月 日

何 某

司法大臣何某殿

(別紙)此願書ニハ左ノ書類ヲ添ルモノトス

一判決ノ正本

一主刑ノ滿期特赦ト爲リ又ハ時效ヲ證明スル書類

一假出獄及ヒ何々監視ヲ免セラレタル證書

一賠償及ヒ訴訟費用ヲ辨濟シ又ハ義務ヲ免レタル證書

一過去現在ノ住所及ヒ生計ヲ記載シタル書類

○人事訴訟ニ關スル書式

書式第百七號

婚姻無効ノ訴



一定ノ目的  
一婚姻ノ無效

原因タル事實

原告ハ明治何年何月何日被告ト婚姻候處何々ノ理由(人違其他ノ事由ヲ記載スヘシ)  
ニヨリ當事者間ニ婚姻ヲ爲スノ意思ナキモノニ御座候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付原告被告間ノ婚姻ハ無效ナリトノ御判決相成度候也

證據方法

一何某ノ證言  
一何々々

右

年 月 日

原告 何

某印

何地方裁判所長判事何某殿

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何

某

書式第百八號

婚姻取消ノ訴

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何

某

一定ノ目的

一婚姻ノ取消

原因タル事實

被告某ハ曾テ自分妻ナリシモ被告某ト姦通ヲナシタルヲ以テ明治何年何月何日何裁  
判所ニ於テ重禁錮何月罰金何圓ノ刑ヲ受ケタリ依テ離縁ヲナシタルモノニ候然ルニ  
今回被告兩名ハ婚姻ヲナシ其届出ヲナシタルモ右ハ法律ニ違背シタルモノト存候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付被告間ノ婚姻ハ取消スヘシトノ御判決相成度候也

證據方法

一戸籍謄本  
 一明治何年何月何日被告兩名ニ對スル何裁判所判決  
 附屬書類ノ表示  
 一戸籍謄本  
 一判決謄本

年 月 日

何地方裁判所長判事何某殿

書式第百九號

離縁ノ訴

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何

右 原告 何 某印

一定ノ目的

一離縁

原因タル事實

原告ハ明治何年何月何日被告ヲ養子トシタルニ明治何年何月以來何々ノ(離縁ヲ求  
 ムル事由ヲ記載スヘシ)事實有之モノニ付離縁ヲ求ムル儀ニ御座候  
 一定ノ申立

右ノ次第ニ付被告ハ原告請求ノ通り離縁スヘシトノ御判決相成度候

證據方法

一何々々

一何々々

一何々々 附屬書類ノ表示

右 原告 何 通

年 月 日

何地方裁判所長判事何某殿

書式第百十號

夫婦同居ノ訴

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何

何府縣郡市區町村番地身分職業

某

某印

一定ノ目的

被告 何 某

一夫婦同居  
原因タル事實

被告ハ明治何年何月何日原告ト婚姻ヲ爲シ入籍ノ手續ヲ了シタルモノニ之有候處明治何年何月何日以來被告ハ擅ニ何郡市町村何番地ヘ一戸ヲ構ヘ原告ト同居ヲ肯セタルモノニシテ法律上婦タル義務ニ背クセノニ付夫タル原告ト同居ヲ求ムル次第ニ候

證據方法

一戸籍謄本

一何々々

附屬書類

一戸籍謄本

一何々々

一通

何々々

右

原告 何 某 印

年 月 日

何地方裁判所長判事何某殿

書式第百十一號

縁組無効ノ訴

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

一定ノ目的

一縁組ノ無効

原因タル事實

原告ハ明治何年何月何日被告ヲ養子トナシ届出ノ手續ヲ了シタルモノ右ハ何々(無効)ノ事實ヲ記載ス(ヘシ)ノ事實有之本件縁組ハ無効ト存候

一定ノ申立

右ノ事由ニ付原告被告間ノ縁組ハ無効ナリトノ御判決相成度候

證據方法

一何々々

一何々々

附屬書類ノ表示

一何々々

何 通

一何々

年月日

右

何通

原告何

某印

何地方裁判所長判事何某殿

書式第一百十二號

縁組取消ノ訴

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告何

某

一定ノ目的

一縁組ノ取消

原因タル事實

原告ハ明治何年何月何日被告ヲ養子トシ(或ハ被告ノ養子トナリ)タルニ右ハ何々ノ事實(取消シ得ヘキ事實ヲ記載スヘシ)有之法律上取消シ得ヘキモノト存シ候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付原告被告間ノ縁組ハ取消スヘシトノ御判決相成度候也

證據方法

一何々

一何々

附屬書類ノ表示

一何々

何通

右

原告何

某印

年月日

何地方裁判所長判事何某殿

書式第一百十三號

離婚ノ訴

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告何

某

一定ノ目的

一離婚

原因タル事實

原告ハ明治何年何月何日被告ト婚姻シ夫婦ト相成リタルニ被告ニ於テハ何々事件ニ付明治何年何月何日何裁判所ニ於テ何々ノ處分ヲ受ケタルモノニ有之名譽上夫婦ノ關係ヲ持續致シ難ク依テ離婚ヲ求ムル次第ニ候

一定ノ申立

右ノ事由ニ付被告ハ原告ト離縁スヘシトノ御判決相成度候

證據方法

一戸籍謄本

一判決謄本

附屬書類ノ表示

一戸籍謄本

一判決謄本

一通 一通

年 月 日

右 原告 何 某印

何地方裁判所長判事何某殿

書式第百十四號

子ノ否認訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

或ハ特別代理人 何 某

一定ノ目的

一子ノ否認

原因タル事實

被告ハ明治何年何月何日出生シタルモノニシテ何々ノ事實(或ハ原告ノ子ナリトシ届出ヲ爲シ置キタルモ何々ノ事實發見)原告ノ子ニアラサルヲ以テ否認ノ訴ヲ提起致候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付被告ハ原告ノ子ニアラサル旨御判決相成度候

證據方法

一戸籍謄本

一何々

附屬書類ノ表示

一何々

何 通

書式第百十五號

年 月 日

何地方裁判所長判事何某殿

私生子認知ノ訴

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

一定ノ目的

一私生子認知

原因タル事實

原告ハ何府縣郡市區町村番地何某ト夫婦ノ契約ヲナシ明治何年何月何日以來同居ヲ  
ナシタル際全何年何月何日被告ヲ設ケタルモ事情アリテ某トノ婚姻ヲナスニ至ラス  
明治何年何月何日離別ト共ニ被告某ヲ何郡市區町村番地某方ヘ何月何日約束ニテ  
預ケルコトトシ入籍モ某ノ戸籍ヘ編入シ置キタリ右ノ如ク原告ノ子ナルヲ以テ今  
般認知致度儀ニ御座候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付被告ハ原告ノ子ナリトノ御判決相成度儀也

證據方法

一何々々

一何々々

一何々々 附屬書類ノ表示

一何々々

何 通

年 月 日

右 原告 何 某 印

何地方裁判所長判事何某殿

書式第百十六號

認知ノ無效(取消)訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

一定ノ目的

式方類書

一 認知ノ無効(取消)

原因タル事實

被告ハ原告ノ子ナリトシ認知ノ上入籍ノ手續ヲ了シタルモ右ハ何々(無効又ハ取消ノ事實ヲ記載スヘシ)ノ事實有之原告ノ子ニアラス全ク認知ハ誤謬ニ出テタルモノニシテ無効ニ有之候又ハ取消ノ事由アルモノニ付之カ取消ヲ求ムル儀ニ御座候

一定ノ申立  
右ノ事由ニ付原告ヨリ被告ニ對シテ我子ナリトノ認知ヲ與ヘタルハ無効ナリ(取消スヘシ)トノ御判決相成度候也  
證據方法

一何々  
附屬書類ノ表示

一何々

右 何通

年月日

原告 何 某印

何地方裁判所長判事何某殿

書式第百十七號

親權喪失ヲ目的トスル訴狀

式方類書

一 親權喪失

一定ノ目的

原因タル事實

被告ハ原告ノ實弟ニシテ何々ノ事實有之(親權喪失ヲ求ムル事由ヲ記載スヘシ)到底一家ヲ修ムルコト能ハサルモノニ付親權喪失ノ宣言ヲ求ムル儀ニ有之候  
一定ノ申立

右ノ次第ニ付被告ニ對シ親權喪失ノ御宣言相成度候

證據方法

一何々

附屬書類ノ表示

一何々

年月日

右 原告 何通 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

何地方裁判所長判事何某殿  
書式第百十八號

財產管理權喪失ノ訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何

某

一定ノ目的

一財產管理權喪失

原因タル事實

原告ハ被告ノ實兄ニシテ子女何人ヲ有シ長男某ハ何歳ニテ未成年者ナルカ故ニ某ノ財產一切ヲ被告ニ於テ管理中ニ候處被告ハ無賴ノ徒ト交際シ遊惰ニシテ家産ヲ減少シ家計次第ニ困難ニ立至リ此儘看過候ハ、長男某ノ財產ヲ舉啣テ蕩盡可致危險有之候ニ付管理權喪失ノ御宣言ヲ求ムル次第ニ候

一定ノ申立

右ノ事由ニ付被告ニ對シ子ノ財產管理權喪失ノ御宣言相成度候也

證據方法

一戶籍謄本

一何々々

一何々々 附屬書類ノ表示

一何々々

年月日

右

何通

原告

何

某印

何地方裁判所長判事何某殿

書式第百十九號

失權ノ取消ノ訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何

某

一定ノ目的

一親權喪失宣言取消ノ訴

原因タル事實

原告ハ被告ノ請求ニ因リ明治何年何月何日親權喪失ノ宣言相成候處爾來改心専心家



務ヲ修理仕リ候ニ付親權喪失ノ宣言取消ヲ請求致シ候  
一定ノ申立

證據方法

一何々

附屬書類ノ表示

一無シ

年 月 日

何地方裁判所長判事何某殿

右  
原告 何 某印

書式第二百二十號

財產管理權喪失宣言取消ノ訴

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

一定ノ目的

一子ノ財產管理權喪失ノ宣言取消ノ件

原因タル事實

原告ニ對シ被告ノ請求ニヨリ明治何年何月何日財產管理權喪失ノ御宣言相成候處未  
タ子ノ財產ニ對シ危險ヲ加ヘタルコト無之且爾來專心家業ニ從事罷在候次第ニ付該  
宣言取消ヲ求ムル儀ニ御座候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付子ノ財產管理權喪失ノ御宣言御取消相成度候也

證據方法

一何々

年 月 日

何地方裁判所長判事何某殿

右  
原告 何 某印

書式第二百二十一號

推定家督相續人廢除訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

一定ノ目的  
一推定家督相續人廢除ノ件

被告 何 某

原因タル事實

被告ハ原告ノ長男ニシテ法定ノ家督相續人ニ有之候處何々何々ノ事實有之(被相續人ニ對シ虐待ヲナシ又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタル等廢除ノ理由ヲ記載スヘシ)依テ之ヲ廢除ヲ求ムル儀ニ御座候

一定ノ申立

右ノ事由ニ付被告ノ推定相續ヲ廢除スヘシトノ御判決相成度候也

證據方法

一何々々

右 原告 何 某 印

年月日

何地方裁判所長判事何某殿

書式第二百二十二號

推定遺產相續人廢除訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某  
被告 何 某  
何府縣郡市區町村番地身分職業

一定ノ目的

一推定遺產相續人廢除ノ件

原因タル事實

被告ハ原告ノ何々ニシテ(親屬ノ關係ヲ記載スヘシ)推定遺產相續人ニ候處何々何々ノ事實(廢除ノ事實ヲ記載スヘシ)有之遺產ヲ相續セシムヘキモノニ無之依テ廢除ヲ求ムル次第ニ候

一定ノ申立

右ノ事由ニ付被告ノ推定遺產相續ハ廢除スヘシトノ御判決相成度候

證據方法

一何々々

右 原告 何 某 印

年月日

何地方裁判所長判事何某殿

書式第二百二十三號

推定家督相續人廢除取消ノ訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告 何 某

一定ノ目的

一推定家督相續人廢除取消ノ件

原因タル事實

原告ハ實父何某ノ請求ニヨリ推定家督相續人ヲ廢除セラレ被告ニ於テ其地位ニ立チ居リシカ何々ニヨリ(廢除原因ノ止ミタル事實ヲ記載スヘシ)既ニ廢除原因ノ止ミタルモノニ付(又ハ何々)廢除ノ取消ヲ求ムル次第ニ候

一定ノ申立

右ノ事由ニ付原告ノ推定家督相續人廢除ハ取消ストノ御判決相成度候也

證據方法

一何々

右

年月日

原告 何 某印

何地方裁判所長判事何某殿  
書式第二百二十四號

禁治產宣告申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申立人 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被申立人 何 某

禁治產宣告申立ノ趣意

一被申立人何某ハ申立人ノ長男ニシテ現今戶主ニ有之候處明治何年何月何日以來精神ニ異狀ヲ呈シ不時ニ心神ヲ喪失スルコト有之近時一層病勢ヲ増加シタル次第ニシテ到底治產ノ能力無之モノニ候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付被申立人ニ對シ禁治產ノ御宣告相成度候也

證據方法

一戶籍謄本

一醫師診斷書

附屬書類ノ表示

一 戶籍謄本  
一 醫師診斷書

一通

年 月 日

右

申立人

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第二百二十五號

禁治產宣告取消申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申立人

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被申立人

何

某

事實

一 被申立人ノ申立ニヨリ申立人ハ明治何年何月何日禁治產ノ宣告相成候處現今ニ至リ

全ク病氣平癒致シ禁治產ノ原因止ミタルニヨリ該宣告御取消ヲ請求致候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付申立人ニ對シテ爲シタル曩ノ禁治產宣告ハ御取消相成度候也

證據方法

一 醫師診斷書

一 何々

附屬書類ノ表示

一 何々

年 月 日

右

申立人

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第二百二十六號

禁治產宣告不服ノ訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業

原告申立人

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被告申立人

何

某

一定ノ目的

一 禁治產宣告取消ノ件

原因タル事實

被告ノ請求ニヨリ明治何年何月何日何裁判所ニ於テ禁治産ノ宣告相成候得共原告ハ心神喪失者ニ無之右ハ何々ノ事情ヨリ出テタルモノニ有之候條該宣告ハ不服ニ付取消ヲ求ムル儀ニ御座候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付禁治産ノ宣告ハ御取消相成度候也

證據方法

一何々

右

原告

何

某印

年月日

何地方裁判所長判事何某殿

書式第百二十七號

失踪ニ對スル公示催告申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申立人

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

被申立人

何

某

原因タル事實

申立人ハ被申立人ノ家督相續人ニ候處被申立人ハ明治何年何月何日家出ノ儘既ニ七ヶ年ヲ經過致シ候得共行衛不分明ニ候

一定ノ申立

右ノ次第ニ付被申立人ニ對シ失踪ノ公示催告相成度候也

證據方法

一戶籍謄本

一何々

附屬書類ノ表示

一何々

何通

右

申立人

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第百二十八號

失踪宣言申立書

何府縣郡市區町村番地身分職業

原因タル事實

申立人ハ被申立人ニ對シ失踪ノ公示催告申立ニヨリ明治何年何月何日以來公示催告相成候ヘ共何等申出無之既ニ期間ヲ經過致シ候ニ付失踪ノ御宣言ヲ求ムル儀ニ候  
申立ノ趣旨  
右ノ次第ニ付被申立人ニ對シ失踪ノ御宣言相成度候也

申立人 何 某  
被申立人 何 某  
何府縣郡市區町村番地身分職業

年 月 日

申立人 何 某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第二百二十九號

失踪宣言不服ノ訴狀

何府縣郡市區町村番地身分職業  
原告 何 某  
何府縣郡市區町村番地身分職業

一定ノ目的

被告 何 某

一失踪宣言不服

原因タル事實

被告ハ原告ニ對シ失踪宣言ノ申立ヲ爲シ何裁判所ニ於テ明治何年何月何日失踪宣言相成候得共右ハ何々ノ事實之有該宣言ハ不服ニ付取消ヲ求ムル次第ニ候  
一定ノ申立  
右事由ニ付原告ニ對スル失踪宣言ハ御取消相成度候

年 月 日

原告 何 某印

何地方裁判所長判事何某殿

○非訟事件ニ關スル書式

書式第三百三十號

財團法人名稱事務所理事任免方法指定申請書  
何府縣郡市區町村番地身分職業

原因タル事實

申請人 何 某

一申請人亡父何某儀(或ハ申請人ハ何郡市區町村番地何某ノ遺言執行者ニ候處何某儀) 慈善ノ目的ヲ以テ何々財團法人ヲ設立シタルモ其法人ノ名稱事務所理事任免ノ方法 ヲ定メスシテ明治何年何月何日死亡任候ニ付之カ指定ヲ申請致シ候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付財團ノ名稱事務所理事任免ノ方法御指定相成度候也

證據書類

一何々

一何々

附屬書類ノ表示

一何々

一何々

何 通

何 通

年 月 日

右 申請人 何 某 附

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第三百三十一號

假理事選任ノ申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一申請人ハ何郡市區町村何會社ニ何々ノ債權ヲ有シ訴訟ヲ提起セントスルモ同會社ハ 内部紛議ノ爲メ理事ハ爲メニ退任シ目下欠員中ニ有之若シ選任ヲ俟ンカ同會社ノ運 命知ルヘカテサル儀ニ付速ニ假理事選任ヲ申請仕候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付何會社假理事御選任相成度候也

證據書類

一預金證書

附屬書類ノ表示

一預金證書謄本

一 通

年 月 日

右 申請人 何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿  
書式第三百三十二號

特別代理人選任申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一自分儀何々會社ヨリ何府縣郡市區町村番地字何々ノ地所何反歩ヲ買受ケタルニ其境  
界ニ付隣地ナル同會社理事何某ハ故障ヲ申込ミタリ依テ何々ニ付同會社ニ對シ之カ  
訴訟ヲ提起スルノ必要アルモ該會社ト理事某トノ利益相反スル儀ニ付特別代理人選  
任ヲ求ムル次第ニ候

申立ノ趣旨

右ノ事由ニ付何々會社特別代理人御選任相成度候也

證據書類

一何々

一何々

附屬書類ノ表示

一何々

何通

一何々

何通

年月日

右

申請人 何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第三百三十三號

清算人選任申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一申請人ハ何郡市區町村番地何々會社ニ何々ノ債權ヲ有シ候處同會社ハ解散シ理事ハ  
解散前辭任シ目下清算人無之候處其財產タル日々減少ノ模様有之一日モ緩フスヘカ  
ラサル儀ニ付清算人ノ選任ヲ申請仕候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付清算人御選任相成度候也

證據書類

一何々



式方類書

一何々々  
附屬書類ノ表示  
一何々々  
一何々々

年 月 日

何區裁判所  
監督判事何某殿

書式第三百三十四號

清算人解任申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一何郡市區町村何々會社解散シ該社理事タリシ何某清算人トシテ該社財産整理中ノ處  
何某ニ於テハ何々不正ノ行爲ヲ以テ申請人ノ債權ニ對シ不公平ノ處置ニ出テ依然其  
行爲ヲ續行セリ依テ之カ解任ヲ申請スル次第ニ候  
申立ノ趣旨

右  
申請人 何 某印  
何 通  
何 通

右ノ次第ニ付清算人何某ヲ解任相成度候  
證據書類

一何々々  
一何々々  
一何々々  
附屬書類

年 月 日

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第三百三十五號

財産管理人選任申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一何郡市區町村番地何某ニ對シ申請人ニ於テ何々ノ債權ヲ有シ候處何某他家出ノ儘今

式方類書

ニ歸宅致サス候ニ付テハ何某ノ財産ヲ保護スル爲メ財産管理人選任ノ必要ヲ感シ候  
申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付何某財産管理人御選任相成度候也

一何々々

附屬書類ノ表示

一何々々

右 何 通

年 月 日

申請人

何

某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第三百三十六號

財産管理人改任申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

原因タル事實

一何郡市區町村番地何某家出不在ノ故ヲ以テ其財産管理ノ爲メ何某ヲ管理人ニ御選任

相成候處何某ニ於テハ其財産管理ヲ怠リ爲メニ財産減耗ノ模様有之候條之カ改任ヲ  
申請致候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付管理人何某ヲ改任相成度候也

右

年 月 日

申請人

何

某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第三百三十七號

財産管理人辭任御届

何府縣郡市區町村番地身分職業

何

某

一自分儀何郡市區町村番地何某財産管理人ニ選任相成候得共從來病身ニシテ任務ニ堪  
へ難ク候ニ付辭任任度別紙醫師診斷書相添へ此段及御届候也

右

年 月 日

何

某

何區裁判所

監督判事何某殿  
書式第三百三十八號

財產賣却許可申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業  
何某財產管理人

何 某

一自分管理中ニ係ル何某財產ノ内何々ハ何々ノ事情有之(賣却ノ理由ヲ記載スヘシ)賣却候方利益ト存候間御許可相成度此段申請候也

右

年 月 日

何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第三百三十九號

權限外處分許可申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業  
何某財產管理人

何 某

一自分管理中ニ係ル何々財產ノ内何々物品ハ何々ノ事由有之(保存シ難キ事由ヲ記載スヘシ)保存致シ難ク候ニ付速ニ賣却ノ上金錢ニ代ヘ候方利益ト認メ候右ハ管理人ノ權限外ニ付御許可相成度此段申請候也

右

年 月 日

何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第四百十號

裁判上代位申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業  
申請人 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業  
債務者 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業  
第三債務者 何 某

一金何 圓 元 金  
保全スヘキ債權

書 類 方 式

一金何 圓 利 金

合計金何圓

右ハ申請人ヨリ明治何年何月何日債務者ニ貸付タルモノニシテ利息金ハ一ヶ月何圓返濟期限ハ明治何年何月何日ナリ

行ハントスル債權

一金何 圓 元 金

一金何 圓 利 金

合計金何圓

右ハ債務者ヨリ第三債務者ニ明治何年何月何日貸付タルモノニシテ利息金ハ一ヶ月何圓返濟期限ハ明治何年何月何日ナリ

原因タル事實

申請人ヨリ債務者ニ對シ右表示ノ如ク貸金ヲ爲シタルモ未タ返濟限期到來セス然ルニ債務者ハ第三債務者ニ對シ右表示ノ債務有之既ニ期限到來候處債務者ニ於テハ目下家計不如意ニシテ他ニ財産ノ顯著ナルモノ無之旁申請人ニ於テ債權保全ノ必要ヲ感シ候ニ付裁判上代位ノ許可相成度儀ニ有之候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付債務者カ第三債務者ニ對スル債權ニ付裁判上代位ノ御許可相成度候

書 類 方 式

證 據 書 類

一貸金證書

一何 ヲ

附屬書類ノ表示

一證書謄本

一何 ヲ

年 月 日

何地方裁判所

監督判事何某殿

書式第四百四十一號

證書保存者指定申請書

右

申請人

何

某 印

何 通 何 通

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

何府縣郡市區町村番地身分職業

書 類 方 式

原因タル事實

一申請人何名ニ於テ何郡市區町村何某ヨリ何郡市區町村番地字何々耕地何反何畝歩ヲ買入レ今般分割致候處右ニ關スル證書保存方ノ儀ニ付協議致候得共決シ兼示候

申立ノ趣旨

右ノ次請ニ付證書保存者御指定相成度候也

證據書類

一何々買入證書

一何々

附屬書類ノ表示

一何々

申請人 何 某

右 何 通

申請人 何 某 印

申請人 何 某 印

申請人 何 某 印

年 月 日

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第四百四十二號

供托所指定申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一申請人ハ何郡市區町村何某ヨリ金何圓ヲ借用シ明治何年何月何日期限ナルニヨリ返濟ヲナサントスルモ債權者某ニ於テ旅行不在中ニテ其居所不明ニ有之辨濟スルニ由ナク候依テ該金額ヲ供托セント存候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付供托所御指定相成度候也

證據書類

一何々

右

申請人 何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第四百四十二號

書 類 方 式

供托物保管者選任申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一申請人ハ何郡市區町村何某ニ何々ヲ引渡スヘキ債務ヲ負ヒ引渡ヲ爲サントスルモ何  
某ハ旅行不在ニシテ引渡ヲ爲スコト能ハス之カ保管ニ困却致候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付保管者御選任相成度候也

證據書類

一何々

附屬書類ノ表示

一何々

何 通

右

申請人 何 某印

年 月 日

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第四百四十三號

競賣許可申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一申請人ハ何郡市區町村番地何某ニ何々ヲ引渡スヘキ契約ヲ結ビ既ニ何日ハ期限ニ付  
引渡サントスルモ何々ニテ引渡ヲナスコト能ハス然ルニ該物品ハ何々(保存シ難キ  
理由ヲ記載スヘシ)保存致シ難ク候ニ付競賣ノ上得タル金錢ヲ供托致度候  
申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付何々競賣ノ御許可相成度候也

證據書類

一何々

附屬書類ノ表示

一何々

右

申請人 何 某印

年 月 日

何區裁判所

監督判事何某殿

書 類 方 式

書式第四百十四號

質物ヲ以テ辨濟ニ充當ノ件申請

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一何郡市區町村何某ニ對シ明治何年何月何日何々ヲ質トシ金何圓ヲ貸與シ其期限タル明治何年何月何日ヲ經過シタルモ返濟セス依テ何々(質物ヲ辨濟ニ充ツル事由ヲ記載スヘシ)該質物ヲ辨濟ニ充當致度債務者ニ對シテハ何月何日豫メ通知致置候

申立ノ趣旨

右ノ事由ニ付質物ヲ直ニ辨濟ニ充ツルノ儀御許可相成度候也

證據書類

一何々々

附屬書類ノ表示

一何々々

一何々々

右

申請人 何 某 印

年 月 日

書 類 方 式

書式第四百十五號

何區裁判所

監督判事何某殿

隱居許可申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

家督相續人 長男 何 某

原因タル事實

一申請人ハ當時戶主ニ候處明治何年何月何日以來病氣ニ罹リ家政ヲ執ルコト能ハス依テ隱居致度候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付隱居御許可相成度候也

證據書類

一醫師ノ診斷書

一戶籍謄本

年 月 日

右

申請人 何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第四百十六號

隱居許可申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

承認家督相續人 何 某

原因タル事實

一申請人ハ何郡市區町村何某方ハ入夫婚姻ノ約ヲ取結ヒ候ニ付隱居致度家督相續ノ儀  
ハ弟某ニ於テ承諾仕候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付隱居許可相成度候也

證據書類

一戶籍謄本

右

年 月 日

申請人 何 某 印

家督相續人 何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第四百十七號

廢家許可申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一申請人ノ一戶ハ何郡市區町村何某方ヨリ戶主タル申請人カ祖父某カ分家シタルモノ  
ニ候處何某方ハ何年前死亡シ其儘相續人無之廢絶致シ居リ候處今般親族會ノ決議ニ  
ヨリ申請人ニ於テ本家再興致スニトニ相成候ニ付自家ヲ廢止仕度儀ニ有之候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付廢家許可相成度候也

證據書類

一何

右

年 月 日

申請人 何 某 印



何區裁判所

監督判事何某殿

書式第四百十八號

懲戒處分申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

原因タル事實

一自分長男何某儀性質不良ニシテ何々ノ行爲有之平素教誨スルモ應セス殊ニ近來何々ノ行爲有之到底尋常一様ノ教訓ニテハ改悛致難ク認メ候ニ付何卒相當ノ期間懲戒場へ入ラシメ度存シ候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付長男某ヲ相當ノ期間懲戒場ニ入ル、様被成下度候也

證據書類

一戸籍謄本

一何々々

右

申請人

何

某印

年 月 日

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第四百十九號

懲戒場期日短縮願

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

一自分長男某ニ對シ明治何年何月何日ヨリ懲戒人御許可相成候處爾來本人ニ於テ悔悟謹愼ノ模様相顯ハレ候ニ付何月何日迄ノ期日ニ御短縮被成下度此段申請仕候也

右

申請人

何

某

年 月 日

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第五百十號

家督相續人選定順序變更申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

原因タル事實

式方類書

一申請人長男戸主何某明治何年何月何日死亡致候處法定及ヒ推定ノ家督相續人無之依テ法定ノ順位ニヨリ弟某ヲ以テ家督相續人タラシムヘキノ處某儀ハ從來放蕩無賴ニシテ諸國ヲ放浪シ來宅スルコト稀ニシテ到底家政ヲ執ルコト能ハサルモノニ有之猶亡何某配遇者某ハ教育ニ乏シク且婦女ノ身ニテ世故ニ通セス是亦其任ニ堪ヘサルモノニ有之依テ何郡市區町村何某方ヘ縁付タル何某ノ所生ニジテ何某何男某ヲ家督相續人ト相定メ度候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付亡何某ノ家督相續人ハ何某ニ變更ノ儀御許可相成度候也

證據書類

一何々々

右

年月日

申請人

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第五百一十一號

家督相續人選定許可申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

何某親族會員親族會代表者

申請人

何

某

原因タル事實

一何郡市區町村番地戸主何某明治何年何月何日死亡候處家督ヲ相續スルモノ親族中ニ無之依テ其生前親交アリシ何郡市區町村番地身分職業何某次男何某ヲ跡相續人ニ選定致度候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付亡何某跡相續人ハ何某タルヘキ様御許可相成度候也

證據書類

一戸籍謄本

一死亡證明書

一親族會決議書

右

年月日

申請人

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第五百十二號

式方類書

親族會招集申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

原因タル事實

一申請人ハ何々ノ事實有之(親族會ノ同意ヲ得ル必要ヲ記載スヘシ)親族會ノ同意ヲ得度候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付親族會御招集相成度候也

證據書類

一戶籍謄本

一會員タルヘキモノ、住所氏名記載簿

右

年 月 日

申請人

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第五百十三號

親族會員辭任申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業  
何某親族會員

何府縣郡市區町村番地身分職業  
申請人 何

某

一自分儀病氣ニ罹リ明治何年何月何日以來臥床中ニ有之未タ全治致サス候ニ付親族會員辭任仕度別紙醫師診斷書相添ヘ此段申請候也

右

年 月 日

申請人

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

(醫師診斷書ヲ添付スヘシ)

書式第五百十四號

親族會ノ決議ニ代ルヘキ裁判申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業  
何某親族會員

何府縣郡市區町村番地身分職業  
申請人 何

某

申請人

何

某

原因タル事實

一何郡市區町村番地何某何々ノ件有之親族會ノ決議ヲ得ントスルモ何々ニシテ開會スルコト能ハス(或ハ決議ヲナスコト能ハス)然レモ何々ニ關シテハ至急其運ヲ要スル儀ニ付該決議ニ代ルヘキ御裁判ヲ受ケ度儀ニ御座候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付親族會ニ代リ何々ノ御撰定相成度候也

右

年 月 日

申請人

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第百五十五號

相續承認拋棄ニ關スル期間伸長申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

原因タル事實

一何郡市區町村番地身分何某死亡ニ付跡相續權アル自分ニ於テ承認拋棄何レカ三月月内ニ取極メ可申ノ處何某ノ權利義務不分明ノモノ多ク該期限内取調兼テ候ニ付猶何

ケ月期間伸長ヲ得度候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付何月何日ヨリ何月何日迄何ケ月期間伸長ノ儀御許可相成度候

右

年 月 日

申請人

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第百五十六號

相續限定承認(拋棄)申述書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

最後ノ住所何府縣郡市區町村番地身分職業

被相續人

何

某

一自分儀相續人ノ家督相續ハ(限定ノ承認致度別紙財産目錄戶籍寫相添、)(債務多ク候ニ付拋棄仕度)此段申述候也

右

年 月 日

申請人

何

某印

書式第五百十七號

何區裁判所  
監督判事何某殿

遺言執行者選任申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何

某

原因タル事實

一自分儀何郡市區町村番地何某家督相續人ニ候處何某儀明治何年何月何日死亡シタル  
ニ遺言書ニ遺言執行者ヲ撰定セシ其執行ノ任ニ當ルモノ無之依テ之ヲ選任ヲ申請致  
候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付遺言執行者御選任相成度候也

證據書類

一戸籍謄本

一遺言書

年 月 日

申請人

何

某印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第五百十八號

遺言執行者解任申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人

何

某

原因タル事實

一何郡市區町村番地何某死亡ニ付遺言執行者何某ヲ何月何日御選任相成候處何某儀何  
々何々ノ處置有之偏頗ニシテ公平ヲ欠キ全ク遺言ノ趣旨ヲ沒了致候ニ付解任ヲ申請  
致ス次第ニ候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付何某ノ遺言執行者タルヲ御解任相成度候也

年 月 日

申請人

何

某

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第五百十九號

遺言確認申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一何郡市區町村番地何某儀(死亡ノ際遺言シタル事實ヲ記載スヘシ)ニ付之カ確認ヲ申請致候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付何某遺言確認相成度候也

證據書類

一遺言筆記者

一證人何某

右

年 月 日 申請人 何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

書式第六十號

遺言檢認申請書

何府縣郡市區町村番地身分職業

申請人 何 某

原因タル事實

一何郡市區町村番地何某儀明治何年何月何日死亡仕候處遺言書封印ノ儘遺シアルヲ發見仕候ニ付之カ檢認ヲ受ケ度儀ニ候

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付何某ノ遺言御檢認相成度候也

證據書類

一遺言書

一死亡證明書

年 月 日 右

申請人 何 某 印

何區裁判所

監督判事何某殿

○戶籍ニ關スル書式

書式第六十一號

出生届(戸六八、六九、一、七二、一、一)

何府縣郡市區町村番地戸主身分職業

父 何 某  
母 某

出生子

長男 某

右某明治何年何月何日午前午後何時何郡市區町村番地ニ於テ出生候間此段及御届候也

何 某 印  
明治年月日生

何郡市区町村戸籍吏何某殿

書式第百六十二號

出生届(戸六八、六九、一、七二、一、一)

何府縣郡市區町村番地戸主平民菓子商兵助長男

無職業

父 米田兵三  
母 トラ

出生子

長女 タツ

右タツ明治何年何月何日午前午後何時何郡市區町村番地ニ於テ出生候間此段及御届候

也

年 月 日

寄留地 何郡市区町村番地

米田トラ印

明治年月日生

何郡市区町村戸籍吏何某殿

書式第百六十三號

出生届(戸六八、六九、一、七二、一、一)

何府縣郡市區町村番地戸主平民下宿業一作姉

母 竹村トリ

私生子女 シハ

右シハ明治何年何月何日午前午後何時何郡市区町村番地ニ於テ出生母ノ家ニ入ルコトヲ得サルニ付一家創立候間此段及御届候也

年 月 日

竹村トリ印

明治年月日生

何郡市区町村戸籍吏何某殿

式方類書

(出生届ハ出生アリタル日ヨリ十日内ニ届出ツヘシ)  
書式第百六十四號

嫡出子否認届(戸七九、民八二二)

女 タツ  
明治年月日生

右タツ否認ノ裁判明治何年何月何日確定候間別紙裁判ノ謄本相添此段御届候也  
但本文ノ通ニ付タツ出生ノ登記變更相成度此段併テ申請候也

何府縣郡市區町村番地戸主兵助長男無職業

否認者 米田兵三 印

明治年月日生

何郡市區町村戸籍吏何某殿

(否認届ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ届出ツヘキモノトス)

書式第百六十五號

私生子認知届(戸八〇、民八二七、八二九、一頂)

何府縣郡市區町村番地戸主職業某姉妹職業

母 乙井トキ

私生子男 某

明治年月日生

右私生子認知候間此段及御届候也

何府縣郡市區町村番地戸主某弟平民無職業

認知者 何 某 印

年 月 日

何郡市區町村戸籍吏何某殿

書式第百六十六號

私生子認知届(戸八〇、民八三一、二頂)

何府縣郡市區町村番地戸主身分職業

母 何 某

私生子 某

明治何年何月何日死亡

明治年月日生

右私生子認知候間此段及御届候也

何府縣郡市區町村番地戸主身分職業

認知者 何 某 印

年 月 日

明治年月日生

式方類書



何郡市區町村戶籍吏何某殿  
書式第百六十七號

私生子認知届(戶八二、八二二)

何府縣郡市區町村番地戶主身分職業

母 何 某

私生子 胎兒 某

右胎兒認知候間別紙母ノ承諾書相添此段及御届候也

何府縣郡市區町村番地戶主某兄(弟叔父)身分職業

認知者 何 某 印

年 月 日

明治年月日生

何郡市區町村戶籍吏何某殿

(遺言ニ依リテ認知ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者ハ遺言カ效力ヲ生シタル日ヨリ十日内ニ認知ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添へ届出ツルヲ要ス又其届書ニハ認知者ノ死亡ノ年月日ヲ記載スヘシ)  
書式第百六十八號

養子縁組届(戶八五、八七民八四七)

何府縣郡市區町村番地戶主身分職業

養父 何 某  
年號月日生

養母 何 某  
年號月日生

何府縣郡市區町村番地戶主職業某弟身分職業

養子 何 某  
年號月日生

右實父職業 何 某

右實母 何 某

右養子縁組候間別紙何々同意證書相添此段及御届候也

年 月 日

何 某(養父)印

何 某(養母)印

何 某(養子)印

何府縣郡市區町村番地職業

證人 何 某 印

何府縣郡市區町村番地職業

年號月日生

何府縣郡市區町村番地職業

某 印

式方類書

書式第百六十九號

何郡市區町村戶籍吏何某殿

養子離縁届(戶九五、九八、民八六四)

何府縣郡市區町村番地戶主身分職業

養父 何 年號月日生 某

養母 年號月日生 某

養子 年號月日生 某

何府縣郡市區町村番地戶主身分職業

某養子カ復籍ス 何 某

へキ家ノ戶主 何 某

某實父 年實母 某

右明治何年何月何日縁組候處今般協議ノ上離縁候間別紙何々同意證書相添此段及御

式方類書

届候也

年 月 日

何

某(養父)印

某(養母)印

某(養子)印

何府縣郡市區町村番地身分職業

證人 何 年號月日生 某印

何府縣郡市區町村番地身分職業

證人 何 年號月日生 某印

何郡市區町村戶籍吏何某殿

(裁判上ノ離縁ニシテ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添へ届出ルヲ要ス) 書式第百七十號

婚姻届(戶一〇二、一〇三、民七七五)

何府縣郡市區町村番地戶主身分職業

夫 何 某

式方類書

右父職業 何 年號月日生 某  
 右母 某  
 何府縣郡市區町村番地職業某妹身分職業 何 某  
 妻 何 年號月日生 某  
 右父職業 何 某  
 右母 某  
 右婚姻候間別紙何々同意證書相添此段御届候也  
 年 月 日

何府縣郡市區町村番地 何 某(夫)印  
 寄留地何府縣郡市區町村番地身分職業 何 某(妻)印  
 證人 何 某印  
 何府縣郡市區町村番地職業(或ハ無職) 年號月日生 某印  
 證人 何 某印

式方類書

何郡市區町村戶籍吏何某殿  
 書式第七十一號

入夫婚姻届(戶一〇二、民七七五)  
 何府縣郡市區町村番地戶主身分職業 何 某  
 妻 何 年號月日生 某  
 何府縣郡市區町村番地職業 何 某  
 右父 何 某  
 右母亡 某  
 何府縣郡市區町村戶主職業某(伯叔父兄弟)身分職業 何 某  
 夫 何 年號月日生 某  
 右父 何 某  
 右母 某  
 右入夫婚姻候間別紙何々同意證書相添此段御届候也  
 年 月 日 某(妻)印

何郡市區町村戸籍吏何某殿

(婚姻ノ届出ハ夫ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ爲スモノトス但入夫婚姻及ヒ婿養子縁組ナルトキハ妻ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ届出ヲ爲スヘキモノトス) 婚姻カ無効ナルトキハ届出人ハ其無効ナル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルヲ要ス」婚姻ノ無効又ハ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スヘキモノトス  
書式第七十二號

離婚届(戸一〇九、一一〇、民八二〇)

何府縣郡市區町村番地戸主身分職業

夫 何 某

何府縣郡市區町村番地身分職業

證人 何 某印

何府縣郡市區町村番地職業

證人 何 某印

年號月日生

右明治何年何月何日婚姻候處今般協議ノ上離婚候間別紙何々同意書相添此段及御届候也

年 月 日

何 某(夫)印

何府縣郡市區町村番地身分職業

某(妻)印

證人 何 某印

何府縣郡市區町村番地身分職業

何府縣郡市區町村番地身分職業

年號月日生